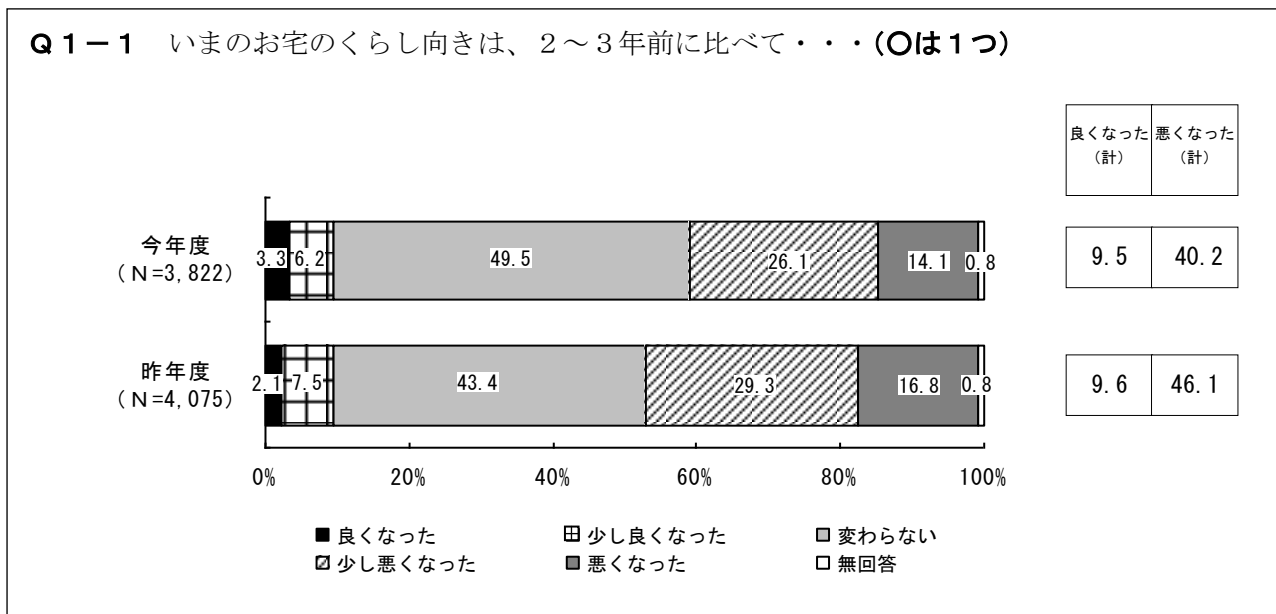


Ⅱ. 調査結果

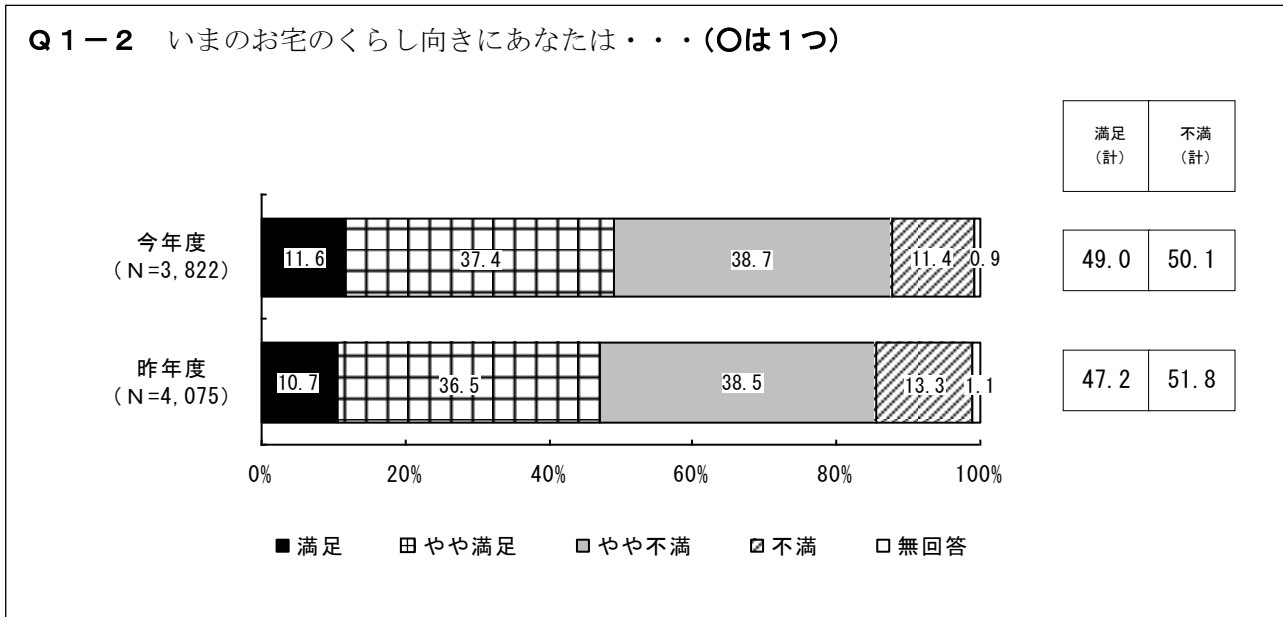
1. 県民の生活実感

1-1. 暮らし向きの変化



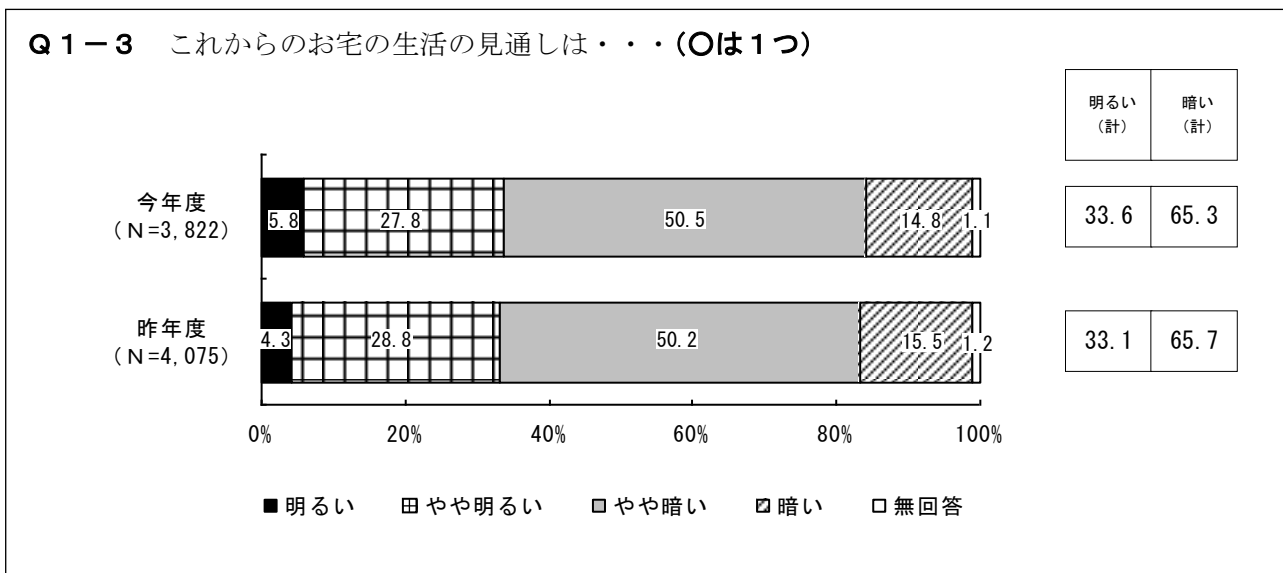
2～3年前に比べた暮らし向きは、「良くなった」と「少し良くなった」を合わせた『良くなった(計)』が9.5%、「悪くなった」と「少し悪くなった」を合わせた『悪くなった(計)』が40.2%となっているが、「変わらない」が49.5%と最も高くなっている。昨年度と比較すると、「変わらない」が6.1ポイント上昇、『悪くなった(計)』が5.9ポイント低下している。

1-2. 暮らしの満足度



現在の暮らし向きに関する満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足 (計)』は 49.0%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満 (計)』は 50.1%となっている。昨年度と比較すると、『満足 (計)』は 1.8 ポイント上昇、『不満 (計)』は 1.7 ポイント低下している。

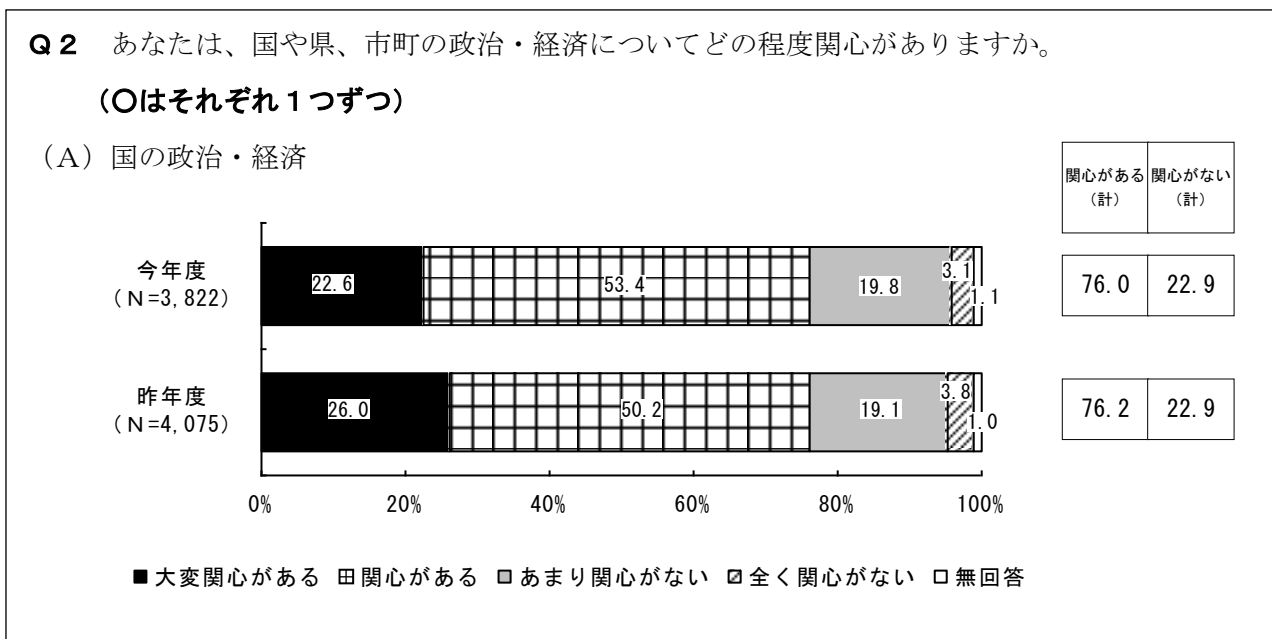
1-3. 今後の生活の見通し



今後の生活の見通しは、「明るい」と「やや明るい」を合わせた『明るい (計)』が 33.6%、「暗い」と「やや暗い」を合わせた『暗い (計)』が 65.3%と、暗い展望が上回っている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

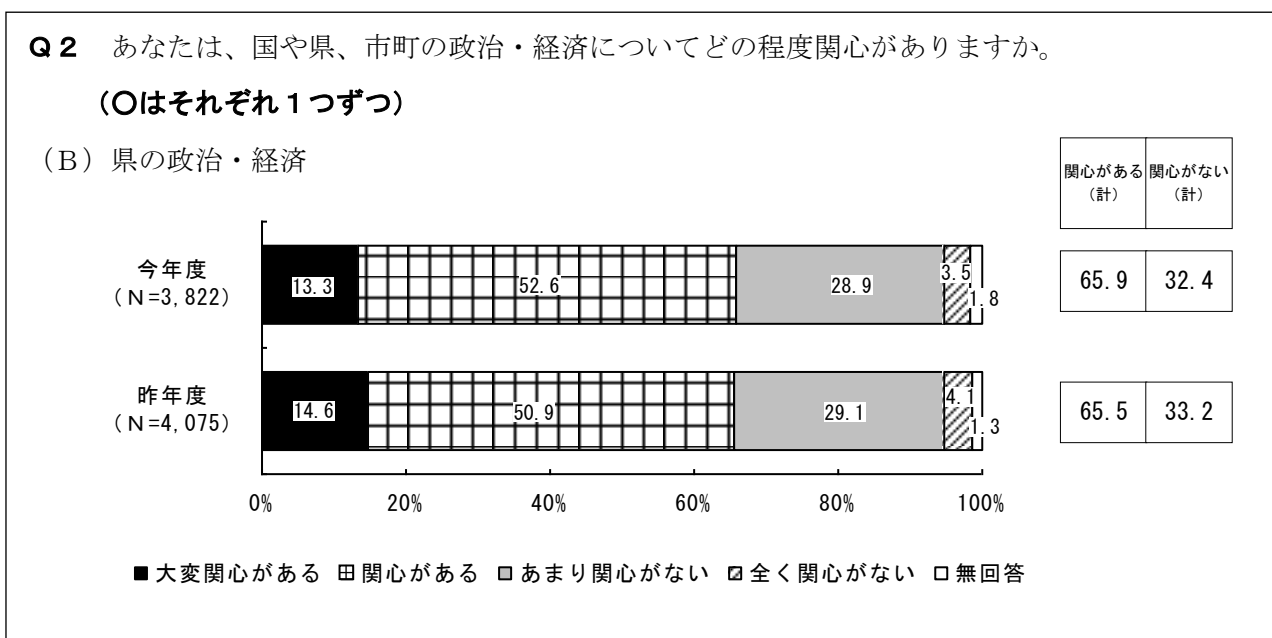
## 2. 政治や経済への関心

### 2-1. 国の政治や経済への関心



国の政治・経済に対する関心度は、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が76.0%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が22.9%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

### 2-2. 県の政治や経済への関心



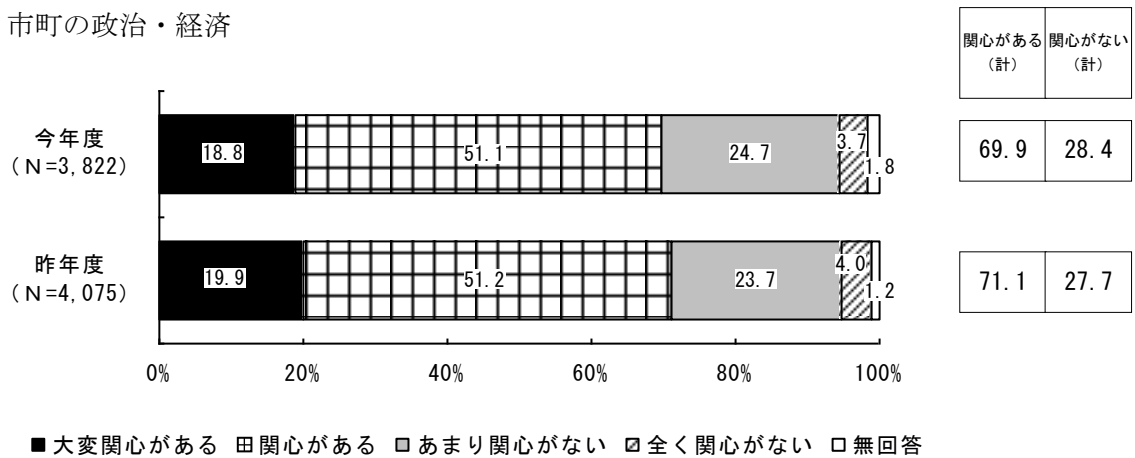
県の政治・経済に対する関心度は、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が65.9%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が32.4%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

2-3. 市町の政治や経済への関心

Q2 あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。

(○はそれぞれ1つつ)

(C) 市町の政治・経済



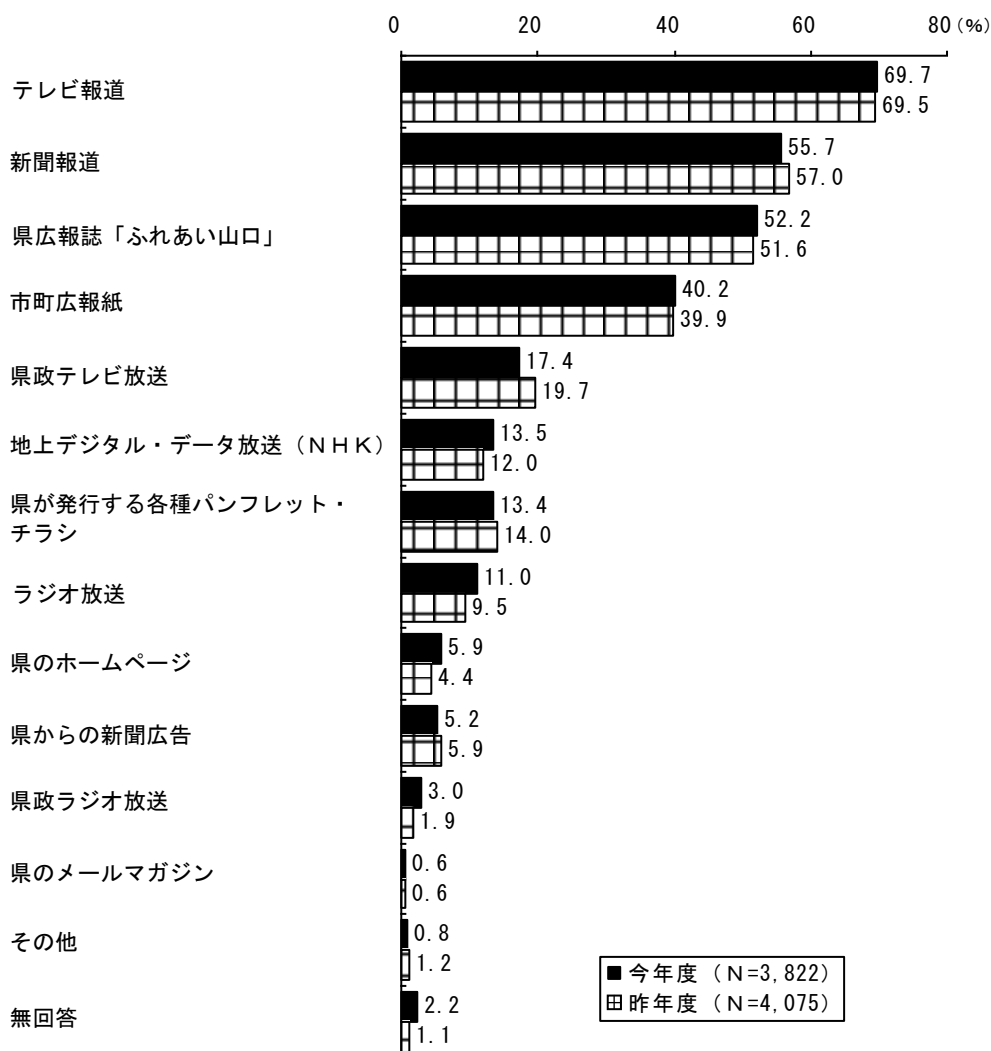
市町の政治・経済に対する関心度は、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある (計)』が69.9%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない (計)』が28.4%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、『関心がある (計)』は1.2ポイント低下している。

### 3. 県の行っている広報

#### 3-1. 県の仕事の認知媒体

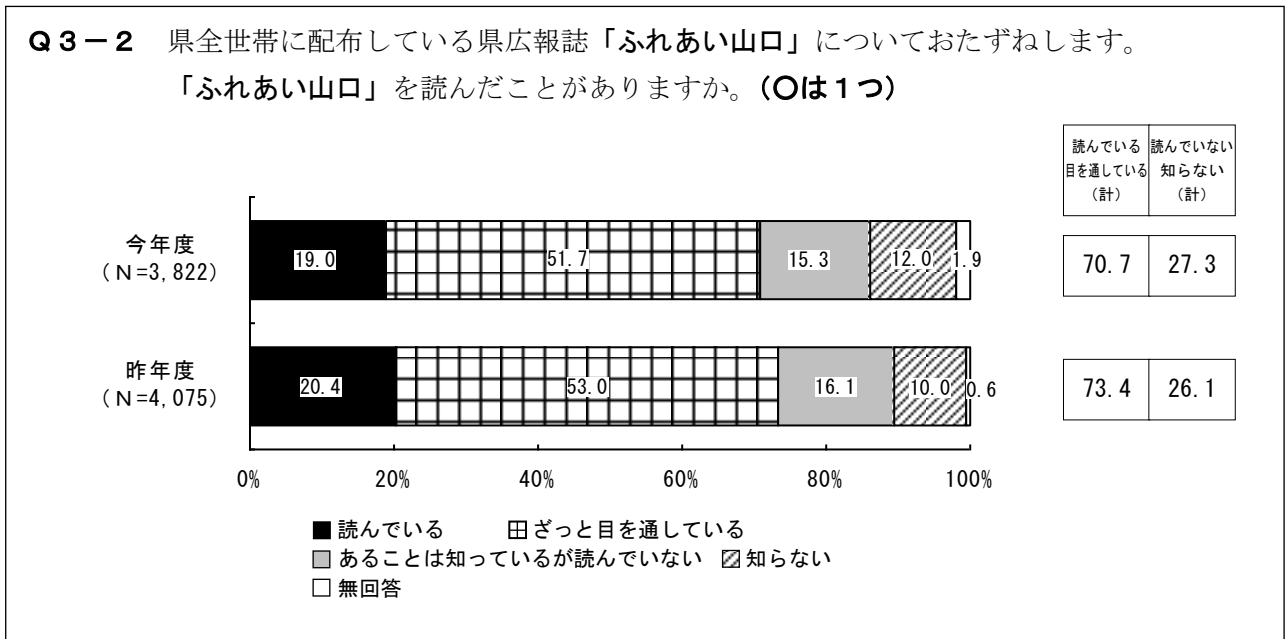
Q3-1 あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。

(○はいくつでも)



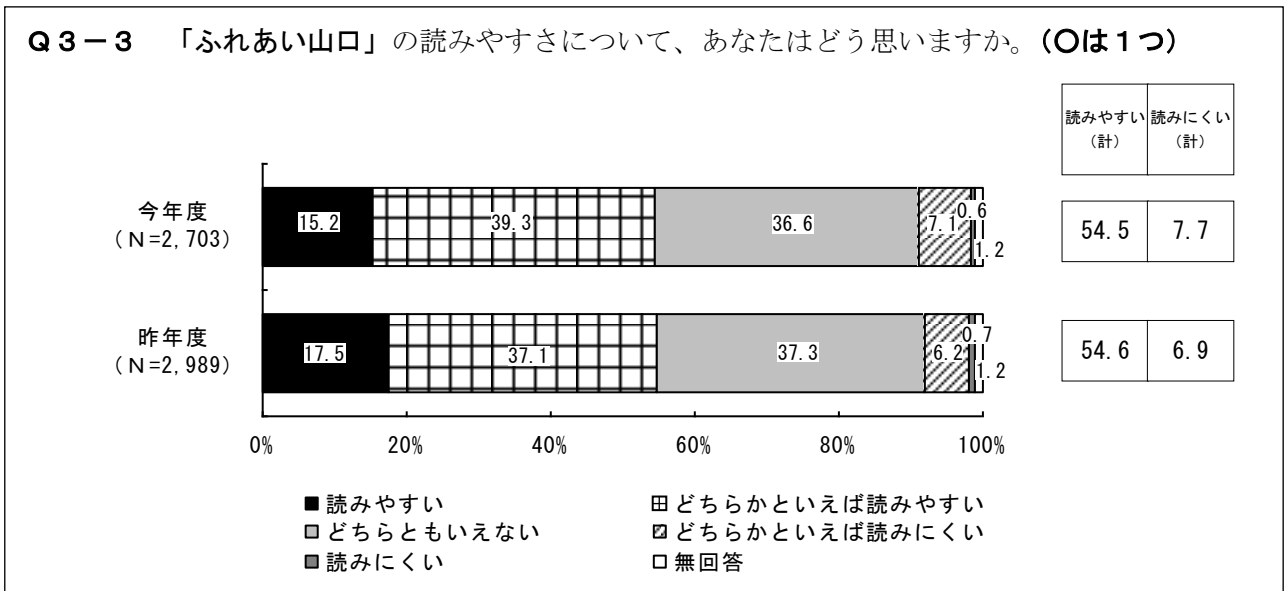
県の仕事の認知媒体としては、「テレビ報道」(69.7%)、「新聞報道」(55.7%)、「県広報誌『ふれあい山口』」(52.2%)が高く、次いで「市町広報紙」(40.2%)、「県政テレビ放送」(17.4%)、「地上デジタル・データ放送 (NHK)」(13.5%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「県政テレビ放送」が2.3ポイント低下している。

3-2. 「ふれあい山口」の閲読状況



県の広報誌「ふれあい山口」の閲読状況は、「読んでいる」と「ざっと目を通して」を合わせた『読んでいる・目を通して (計)』が70.7%、「あることは知っているが読んでいない」と「知らない」を合わせた『読んでいない・知らない (計)』が27.3%となっている。昨年度と比較すると、『読んでいる・目を通して (計)』は2.7ポイント低下している。

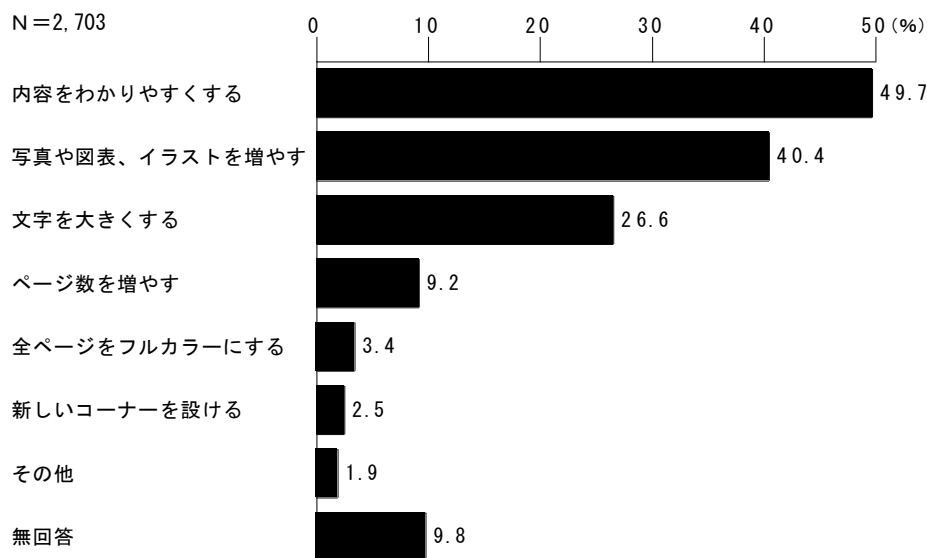
3-3. 「ふれあい山口」の内容に対する評価



Q3-2で「ふれあい山口」を「読んでいる」と「ざっと目を通して」と回答された方に、「ふれあい山口」の読みやすさに対する評価について質問すると、「読みやすい」と「どちらかといえば読みやすい」を合わせた『読みやすい (計)』が54.5%、「読みにくい」と「どちらかといえば読みにくい」を合わせた『読みにくい (計)』が7.7%となっている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

## 3-4. 「ふれあい山口」を読みやすく、充実させるにはどうすればよいか

**Q3-4** 「ふれあい山口」をもっと読みやすく、充実させるには、どうすればよいと思いますか。  
(〇はいくつでも)



Q3-2で「ふれあい山口」を「読んでいる」と「ざっと目を通している」と回答された方に、「ふれあい山口」を読みやすく、充実させるにはどうすればよいかについて質問すると、「内容をわかりやすくする」(49.7%)が最も高く、次いで「写真や図表、イラストを増やす」(40.4%)、「文字を大きくする」(26.6%)、「ページ数を増やす」(9.2%)などの順となっている。

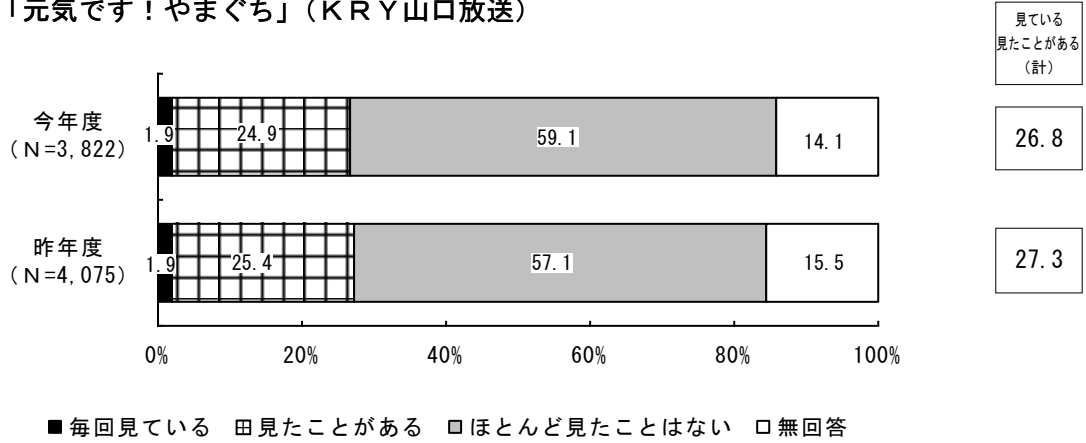
3-5. 各テレビ番組・各ラジオ番組の視聴（聴取）状況

Q3-5 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。

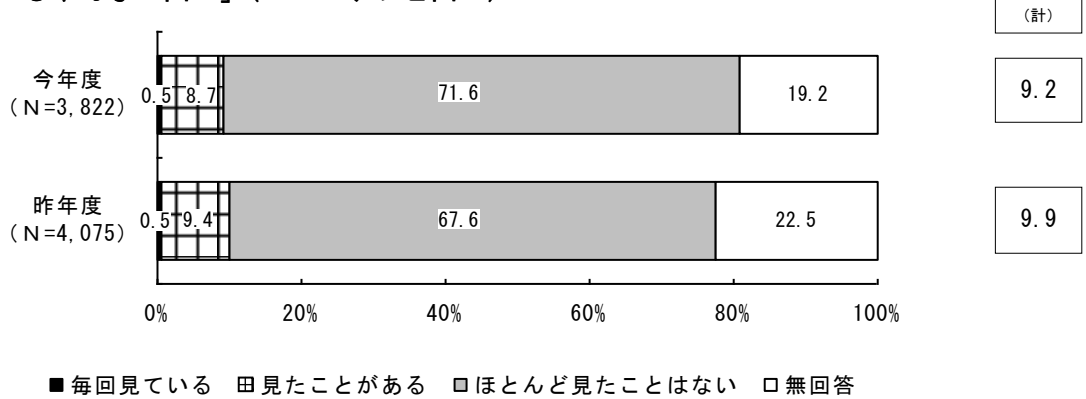
(1) 次の番組を視聴（または聴取）されたことがありますか。

1、2、3から選んでください。(〇はそれぞれ1つつつ)

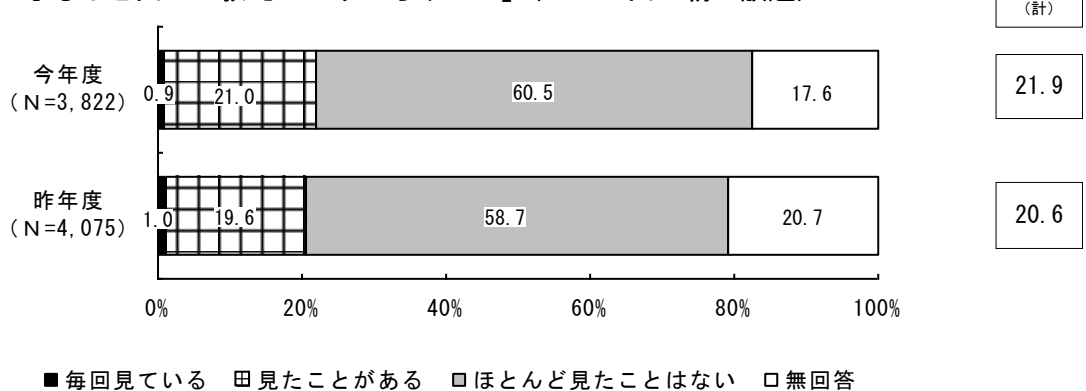
(ア) 「元気で！やまぐち」(KRY山口放送)



(イ) 「じゃんぷ！山口」(TYSテレビ山口)



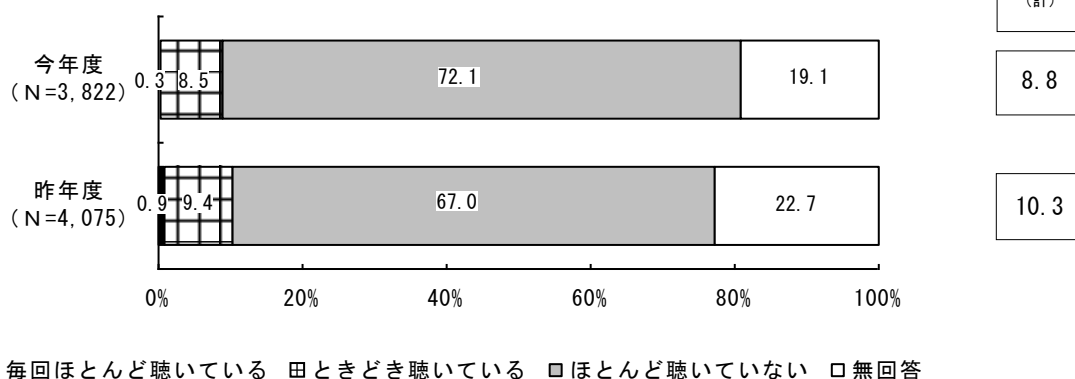
(ウ) 「なるほど山口～教えて！リカちゃん～」(YAB山口朝日放送)



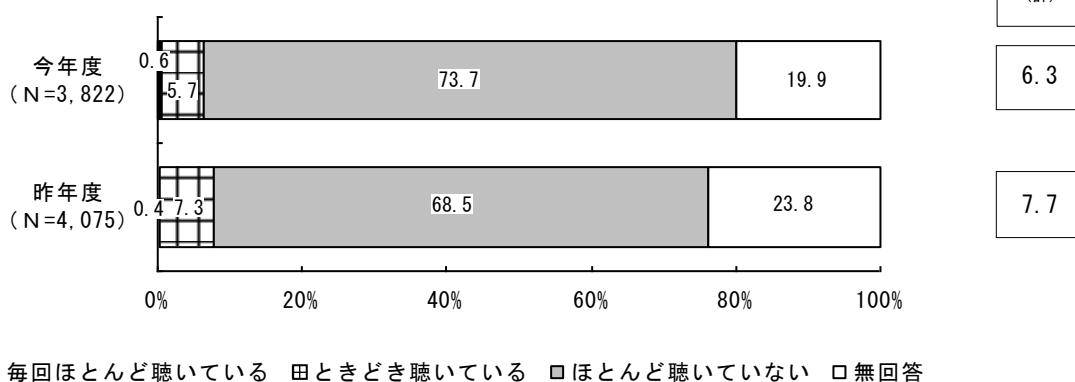
県が提供している県政テレビ番組の視聴状況については、「毎回見ている」と「見たことがある」を合わせた『見ている・見たことがある（計）』が「元気で！やまぐち」では26.8%、「じゃんぷ！山口」では9.2%、「なるほど山口～教えて！リカちゃん～」では21.9%となっている。昨年度と比較すると、「なるほど山口～教えて！リカちゃん～」はやや上昇している。



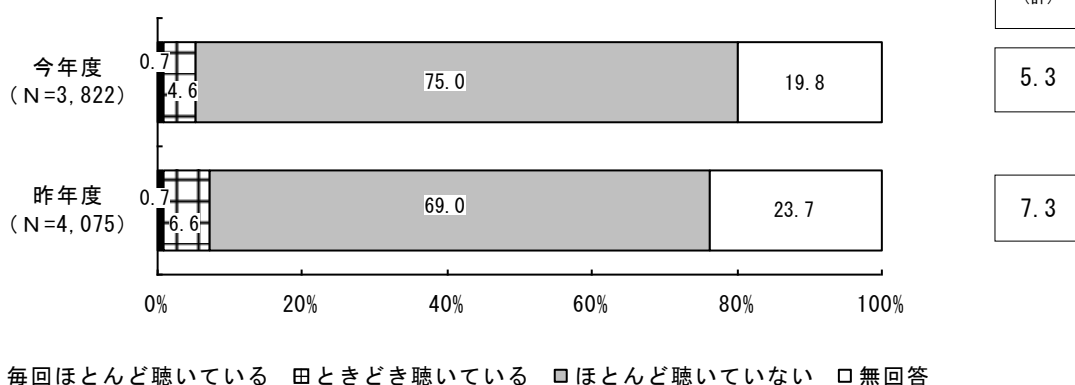
(エ) 「ワンポイント県政」(KRY山口放送)



(オ) 「FM県民ダイアリー」(エフエム山口)



(カ) 「情報BOX山口」(エフエム山口)



県が提供している県政ラジオ番組の聴取状況について、「毎回ほとんど聴いている」と「ときどき聴いている」を合わせた『聴いている (計)』は、すべての番組において1割に満たない。昨年度と比較すると、すべての番組で低下している。

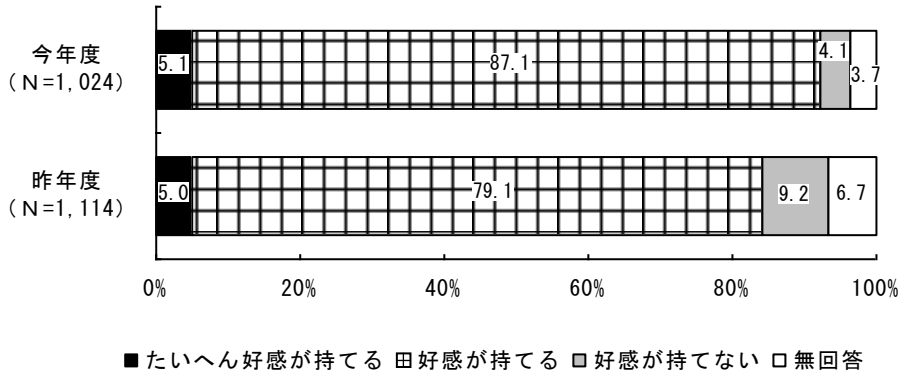
3-6. 各テレビ番組・各ラジオ番組の印象

Q3-5 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。

(2) 視聴（または聴取）されたことがある場合は、その番組の印象を4、5、6から選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）

(ア) 「元気で！やまぐち」（KRY山口放送）

好感が  
持てる  
(計)

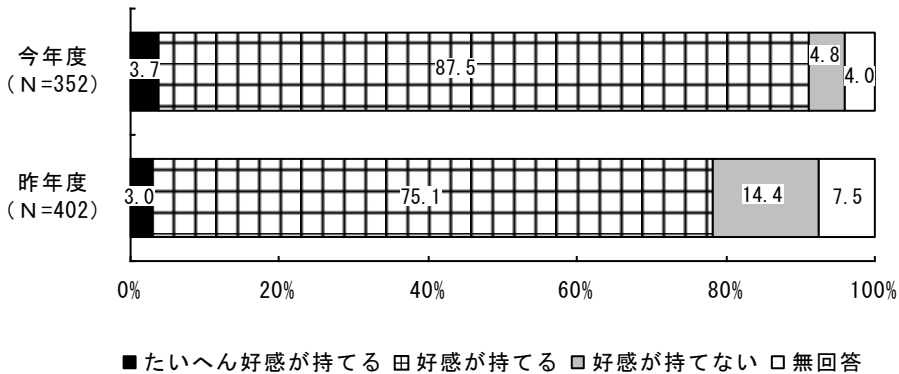


92.2

84.1

(イ) 「じゃんぷ！山口」（TYSテレビ山口）

好感が  
持てる  
(計)

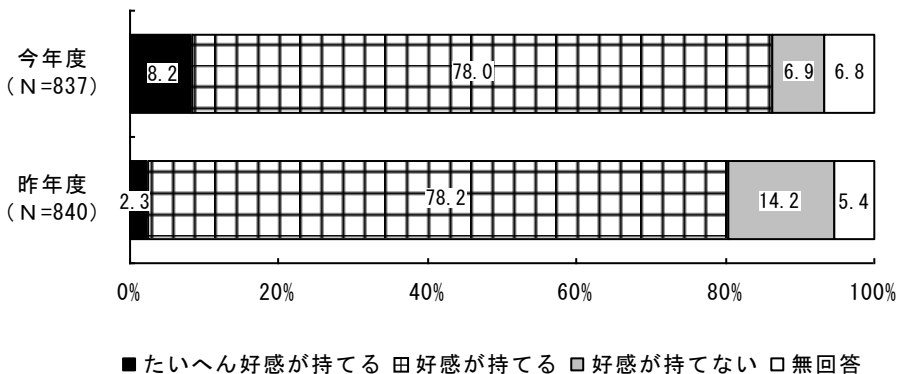


91.2

78.1

(ウ) 「なるほど山口～教えて！リカちゃん～」(YAB山口朝日放送)

好感が  
持てる  
(計)

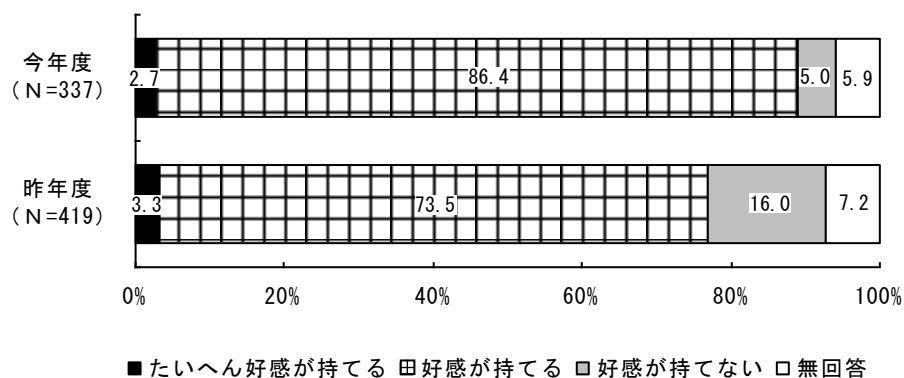


86.2

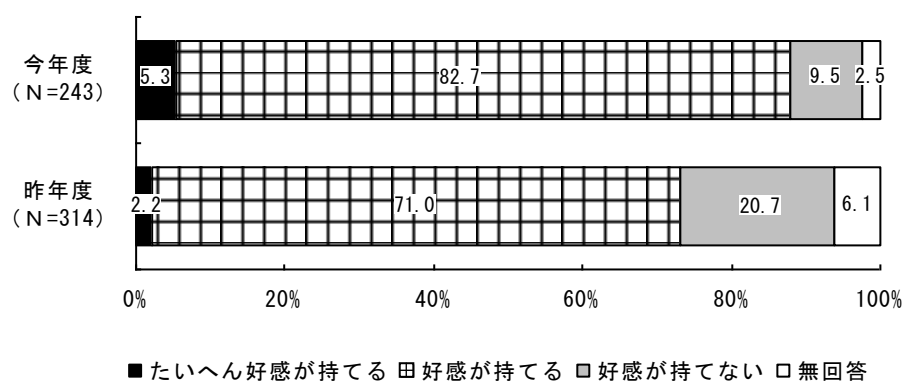
80.5

県が提供している県政テレビ番組の各番組の印象について、「たいへん好感が持てる」と「好感が持てる」を合わせた『好感が持てる（計）』が「元気で！やまぐち」、「じゃんぷ！山口」では9割台となっている。昨年度と比較すると、各番組とも好感度は上昇し、「じゃんぷ！山口」では13.1ポイント上昇している。

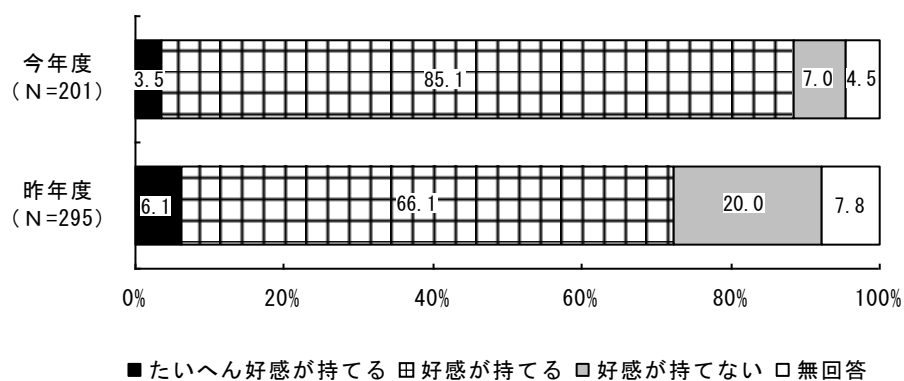
(エ) 「ワンポイント県政」(KRY山口放送)



(オ) 「FM県民ダイアリー」(エフエム山口)

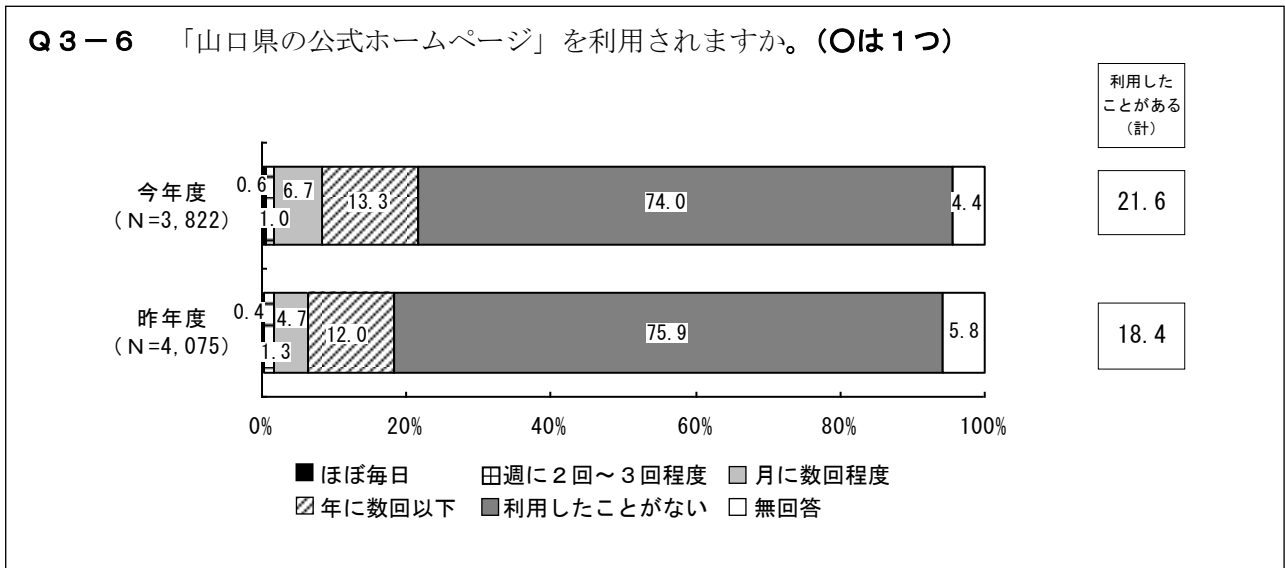


(カ) 「情報BOX山口」(エフエム山口)



県が提供している県政ラジオ番組の印象についてみると、「たいへん好感が持てる」と「好感が持てる」を合わせた『好感が持てる (計)』は、各番組とも約9割と高くなっている。昨年度と比較すると、各番組とも好感度は上昇し、「情報BOX山口」では16.4ポイント上昇している。

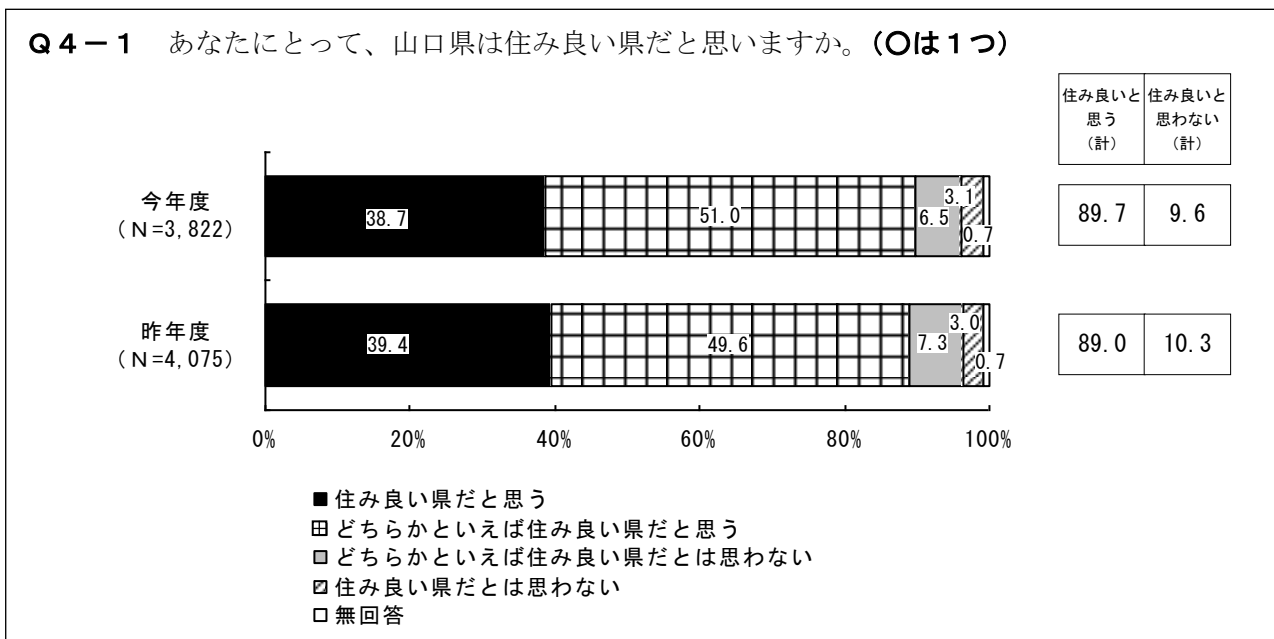
3-7. 「山口県の公式ホームページ」の利用頻度



「山口県の公式ホームページ」の利用頻度について、「ほぼ毎日」、「週に2回~3回程度」、「月に数回程度」、「年に数回以下」を合わせた『利用したことがある(計)』が21.6%、「利用したことがない」が74.0%となっている。昨年度と比較すると、『利用したことがある(計)』が3.2ポイント上昇している。

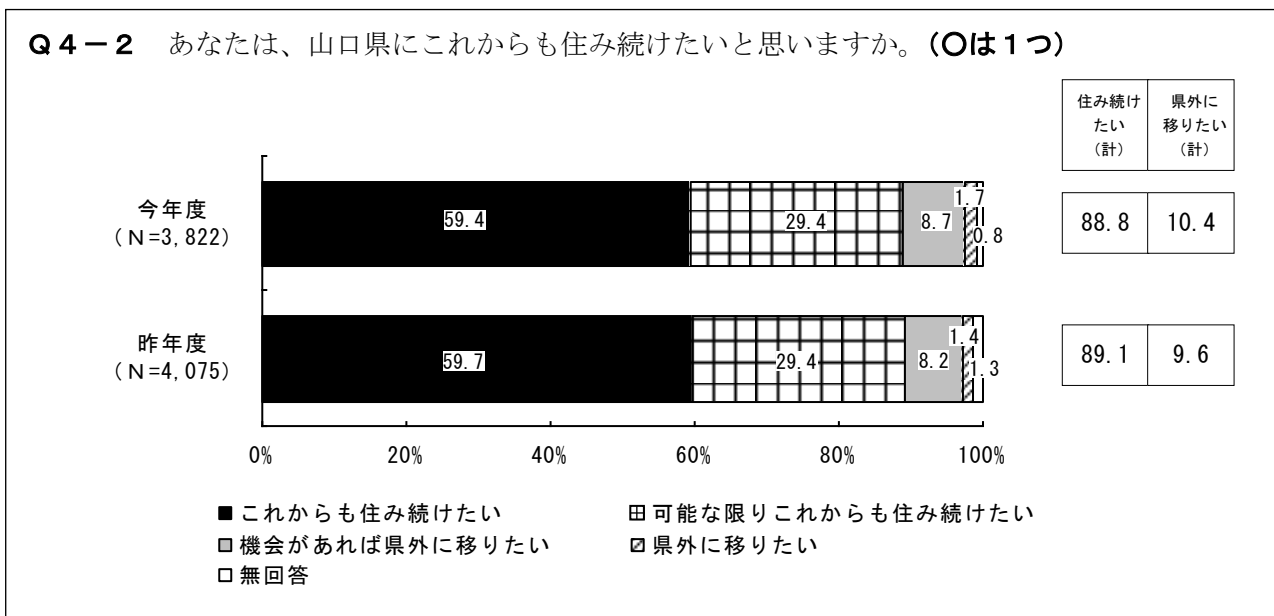
## 4. 住み良さ

### 4-1. 山口県の住み良さ



住み良さについては、「住み良い県だと思う」と「どちらかといえば住み良い県だと思う」を合わせた『住み良いと思う (計)』が89.7%、「住み良い県だとは思わない」と「どちらかといえば住み良い県だとは思わない」を合わせた『住み良いと思わない (計)』が9.6%と、昨年度と同様に『住み良いと思う (計)』が高くなっている。

### 4-2. 今後の山口県への居留意向



今後の山口県への居留意向については、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい (計)』が88.8%、「県外に移りたい」と「機会があれば県外に移りたい」を合わせた『県外に移りたい (計)』が10.4%と、昨年度と同様に『住み続けたい (計)』が高くなっている。

4-3. 住み良さの実感

Q4-3 次の各項目におけるあなたの実感についておたずねします。

いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

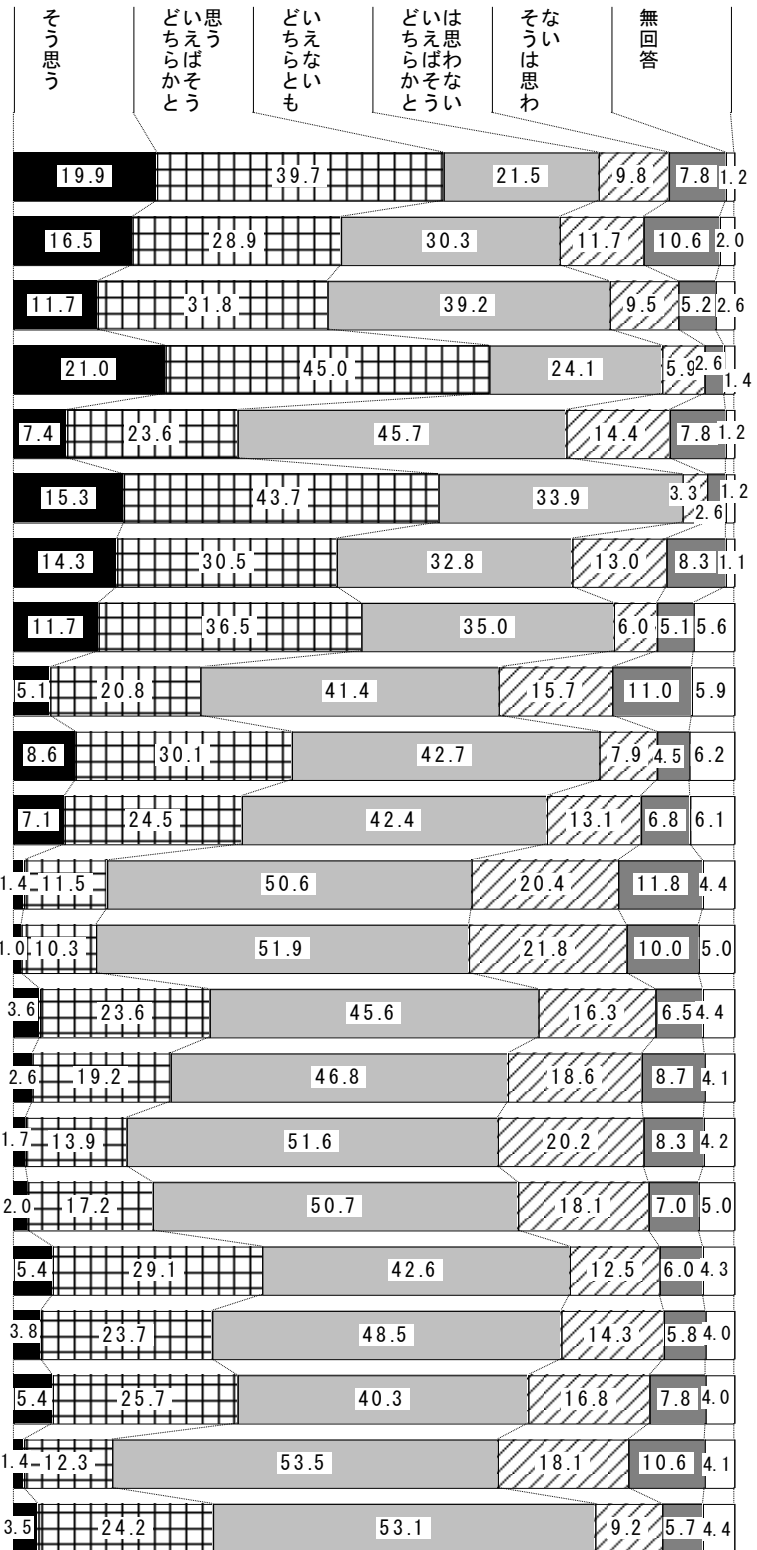
N=3,822

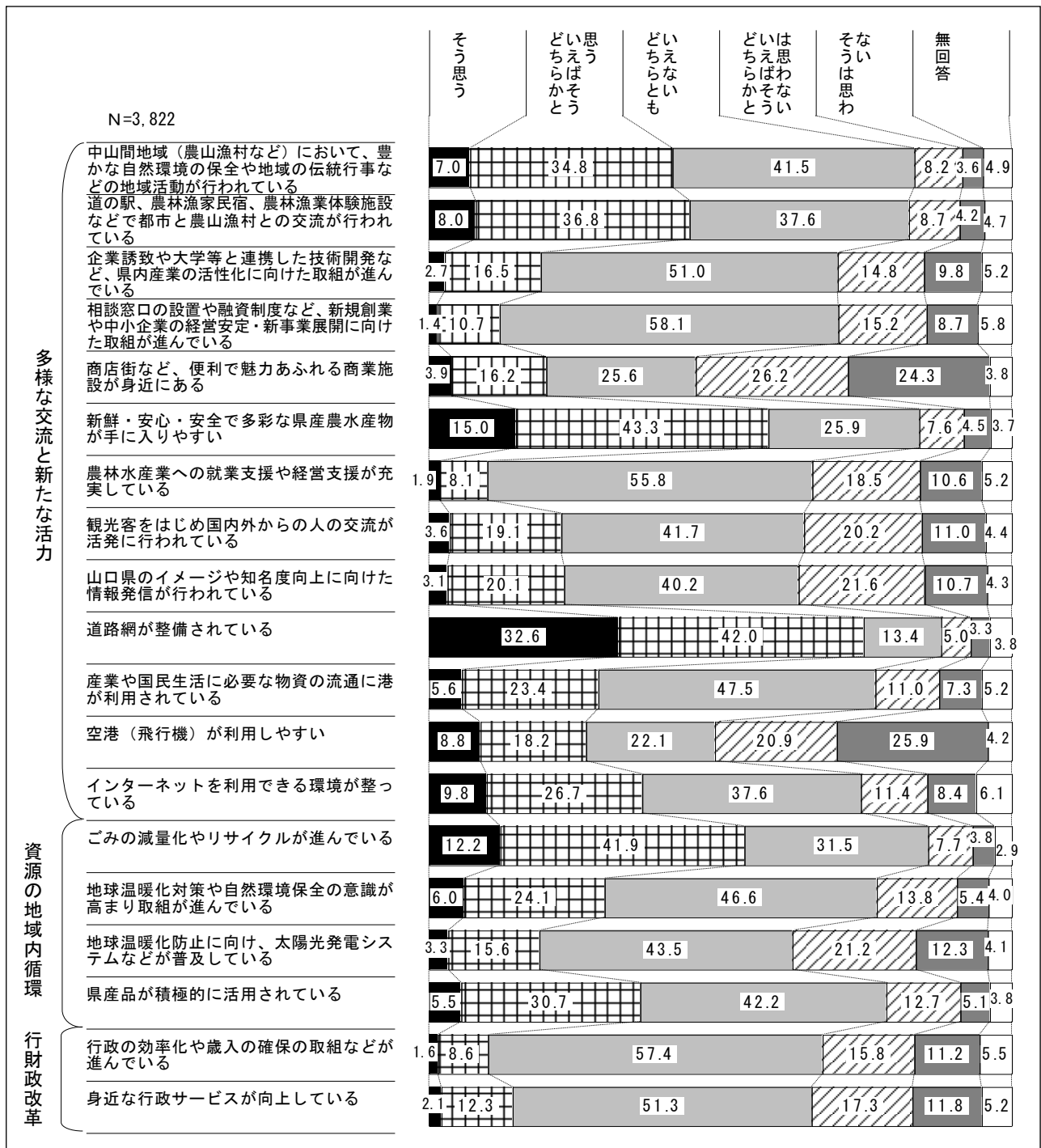
くらしの安心・安全

子どもたちの育成

多様なひとが活躍できる基盤

- 病院や診療所などの医療機関が充実している
- 救急時に対する不安が小さい
- 生活習慣病の予防・早期発見の体制が整備されている
- 犯罪が少なく、治安に対する不安が小さい
- 交通事故が少ない
- 安全性の高い食品が手に入りやすい
- 災害時に対する不安が小さい
- 安心して、子育てができる
- 育児をしながら仕事ができる環境がある
- 35人学級化など、子どもたちが学校で教育を受ける環境が充実している
- 地域における子育ての支え合いがある
- 若者就職支援センターの取組など、若者が県内で就職するための支援が充実している
- 技能・技術の継承や技能の向上など、次代を担う技能者の育成が進められている
- 高齢者などシニアが社会参加する機会が増えている
- 高齢者が安心して生活できる制度や地域の支え合いの取組が進んでいる
- 障害のある人が自立して生活を送るための支援の取組が進んでいる
- 障害のある人が能力に応じた就労や、スポーツなどの社会参加ができる
- スポーツ拠点の整備やイベントの開催など、スポーツに親しむ機会に恵まれている
- ボランティアなどの県民活動が活発である
- 文化、芸術に親しむ機会に恵まれている
- 性別にかかわらず、個性や能力が発揮できる
- 一人ひとりの人権が尊重されている





住み良さの実感について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う（計）』の割合は、【くらしの安心・安全】分野では、「犯罪が少なく、治安に対する不安が小さい」、「病院や診療所などの医療機関が充実している」、「安全性の高い食品が手に入りやすい」、【子どもたちの育成】分野では、「安心して、子育てができる」、【多様な交流と新たな活力】分野では、「道路網が整備されている」、「新鮮・安心・安全で多彩な県産農水産物が手に入りやすい」、【資源の地域内循環】分野では、「ごみの減量化やリサイクルが進んでいる」で高くなっている。

また、【多様な交流と新たな活力】分野では、「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた『思わない（計）』が「商店街など、便利で魅力あふれる商業施設が身近にある」（50.5%）、「空港（飛行機）が利用しやすい」（46.8%）で高くなっている。

＜住み良さの実感上位10項目＞

【思う】の割合が多いもの （「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）		
	分野	割合
道路網が整備されている	多様な交流と新たな活力	74.6%
犯罪が少なく、治安に対する不安が小さい	くらしの安心・安全	66.0%
病院や診療所などの医療機関が充実している	くらしの安心・安全	59.6%
安全性の高い食品が手に入りやすい	くらしの安心・安全	59.0%
新鮮・安心・安全で多彩な県産農水産物が手に入りやすい	多様な交流と新たな活力	58.3%
ごみの減量化やリサイクルが進んでいる	資源の地域内循環	54.1%
安心して、子育てができる	子どもたちの育成	48.2%
救急時に対する不安が小さい	くらしの安心・安全	45.4%
災害時に対する不安が小さい	くらしの安心・安全	44.8%
道の駅、農林漁家民宿、農林漁業体験施設などで都市と農山漁村との交流が行われている	多様な交流と新たな活力	44.8%

【思わない】の割合が多いもの （「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」の合計）		
	分野	割合
商店街など、便利で魅力あふれる商業施設が身近にある	多様な交流と新たな活力	50.5%
空港（飛行機）が利用しやすい	多様な交流と新たな活力	46.8%
地球温暖化防止に向け、太陽光発電システムなどが普及している	資源の地域内循環	33.5%
山口県のイメージや知名度向上に向けた情報発信が行われている	多様な交流と新たな活力	32.3%
若者就職支援センターの取組など、若者が県内で就職するための支援が充実している	多様なひとが活躍できる基盤	32.2%
技能・技術の継承や技能の向上など、次代を担う技能者の育成が進められている	多様なひとが活躍できる基盤	31.8%
観光客をはじめ国内外からの人の交流が活発に行われている	多様な交流と新たな活力	31.2%
農林水産業への就業支援や経営支援が充実している	多様な交流と新たな活力	29.1%
身近な行政サービスが向上している	行財政改革	29.1%
性別にかかわらず、個性や能力が発揮できる	多様なひとが活躍できる基盤	28.7%

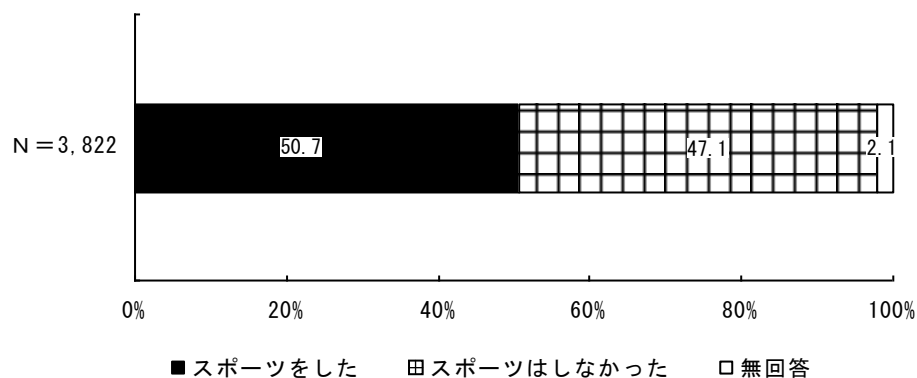


## 5. スポーツ実施状況

### 5-1. 過去1年間でのスポーツ実施状況

**Q5-1** あなたは、過去1年間に、スポーツを行いましたか。(〇は1つ)

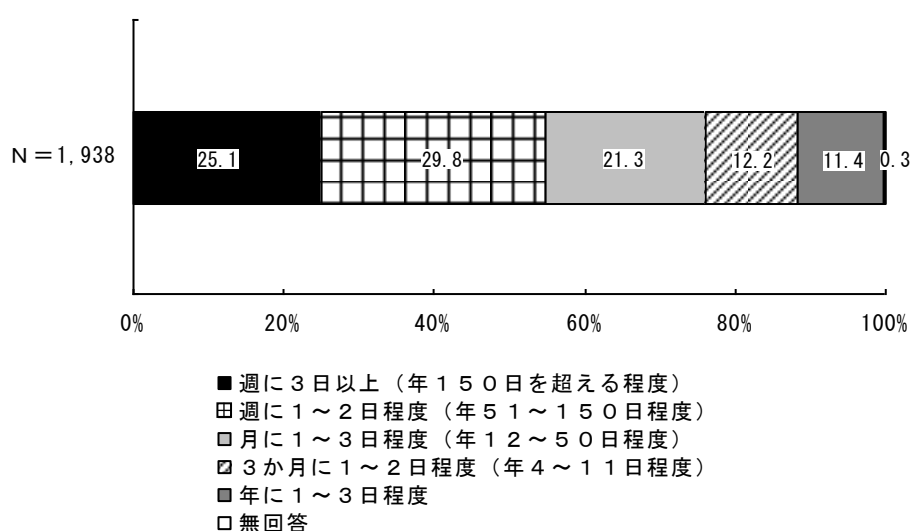
※「スポーツ」：陸上競技・水泳・野球・サッカー等の他、グラウンドゴルフ・インディアカ等のレクリエーションスポーツ、ハイキング・釣り等の野外活動及びウォーキング・軽い体操を含みます。



過去1年間でのスポーツ実施状況について、「スポーツをした」が50.7%、「スポーツはしなかった」が47.1%となっている。

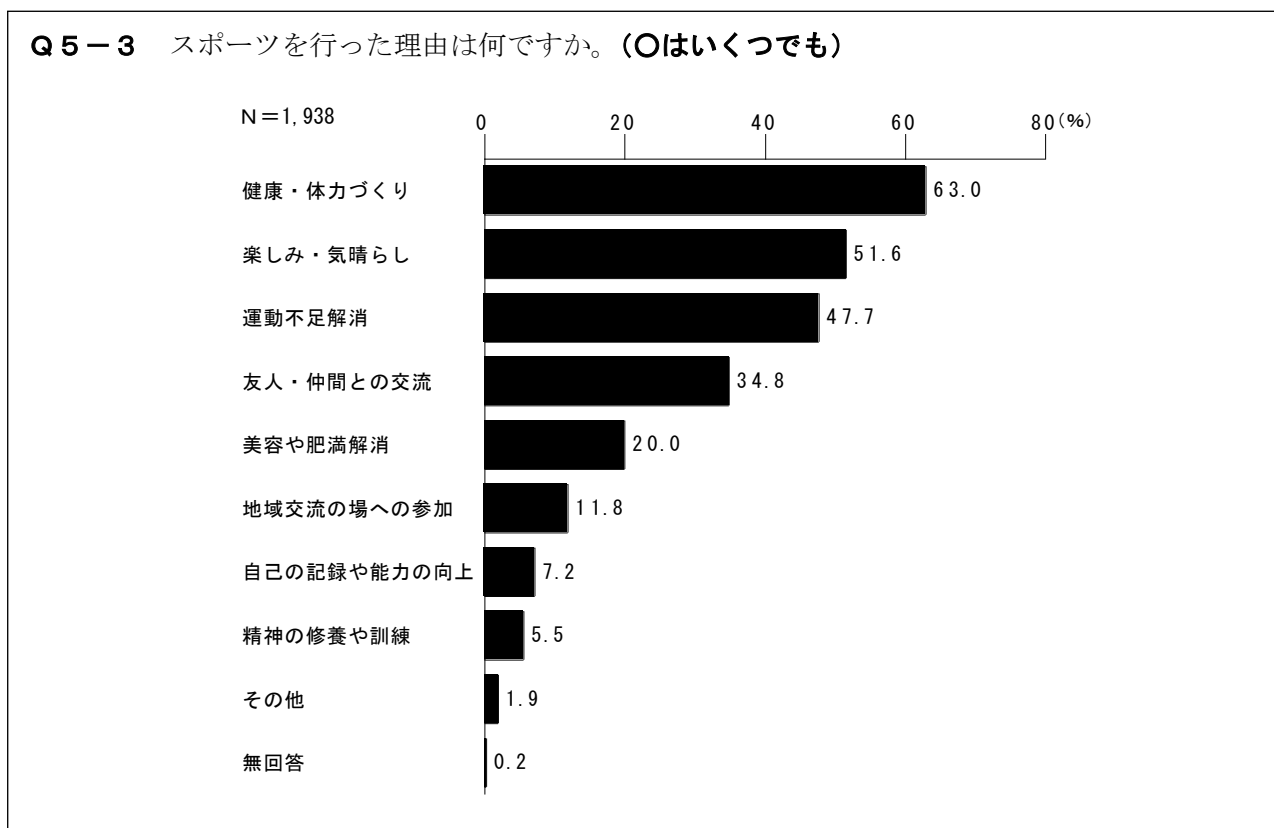
### 5-2. スポーツ実施頻度

**Q5-2** どれくらいの頻度でスポーツを行いましたか。(〇は1つ)



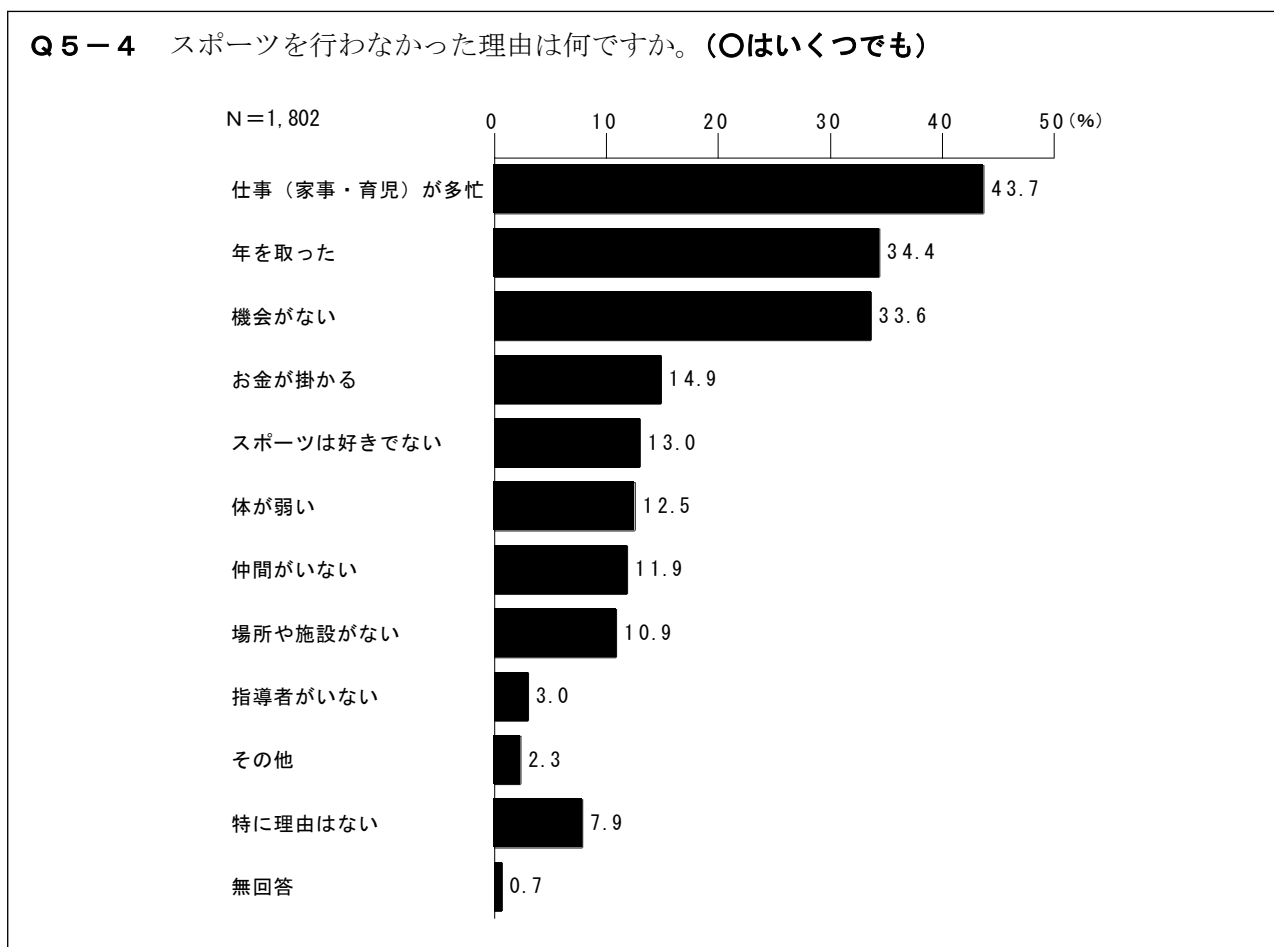
Q5-1で「スポーツをした」と回答された方に、スポーツ実施頻度について質問すると、「週に1~2日程度 (年51~150日程度)」が29.8%と最も高く、次いで「週に3日以上 (年150日を超える程度)」(25.1%)、「月に1~3日程度 (年12~50日程度)」(21.3%)などの順となっている。

5-3. スポーツを行った理由



Q5-1で「スポーツをした」と回答された方に、スポーツを行った理由について質問すると、「健康・体力づくり」との回答が63.0%と最も高く、次いで「楽しみ・気晴らし」(51.6%)、「運動不足解消」(47.7%)、「友人・仲間との交流」(34.8%)などの順となっている。

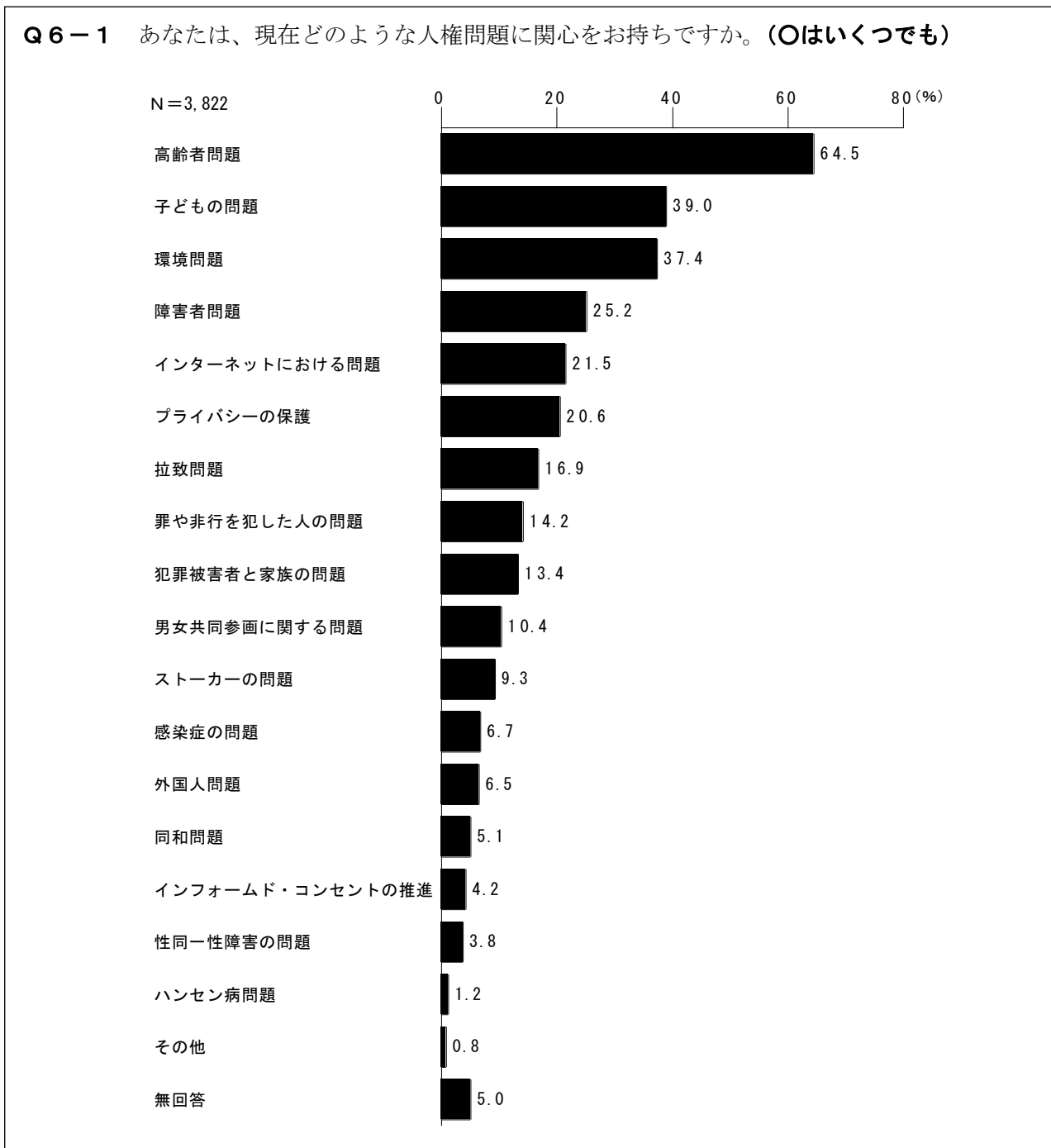
## 5-4. スポーツを行わなかった理由



Q5-1で「スポーツはしなかった」と回答された方に、スポーツを行わなかった理由について質問すると、「仕事(家事・育児)が多忙」との回答が43.7%と最も高く、次いで「年を取った」(34.4%)、「機会がない」(33.6%)などの順となっている。

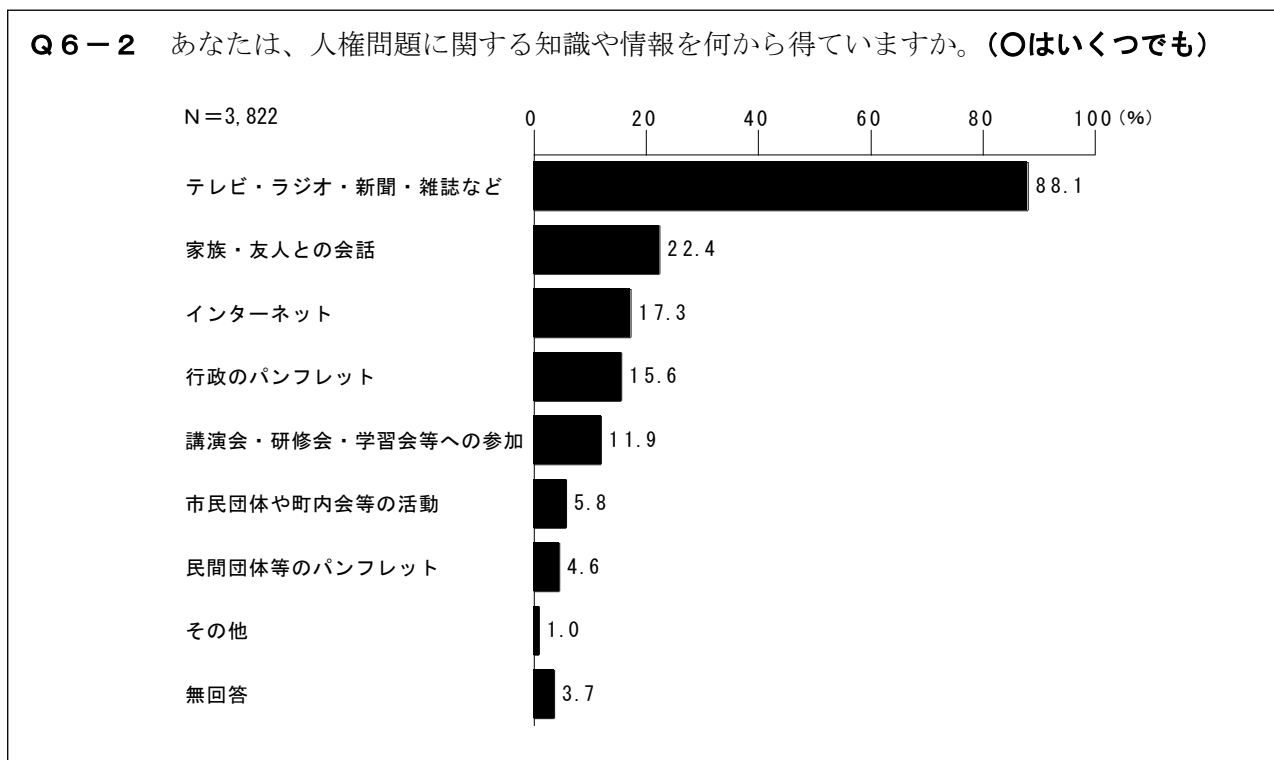
## 6. 関心がある人権問題

### 6-1. 現在関心を持っている人権問題



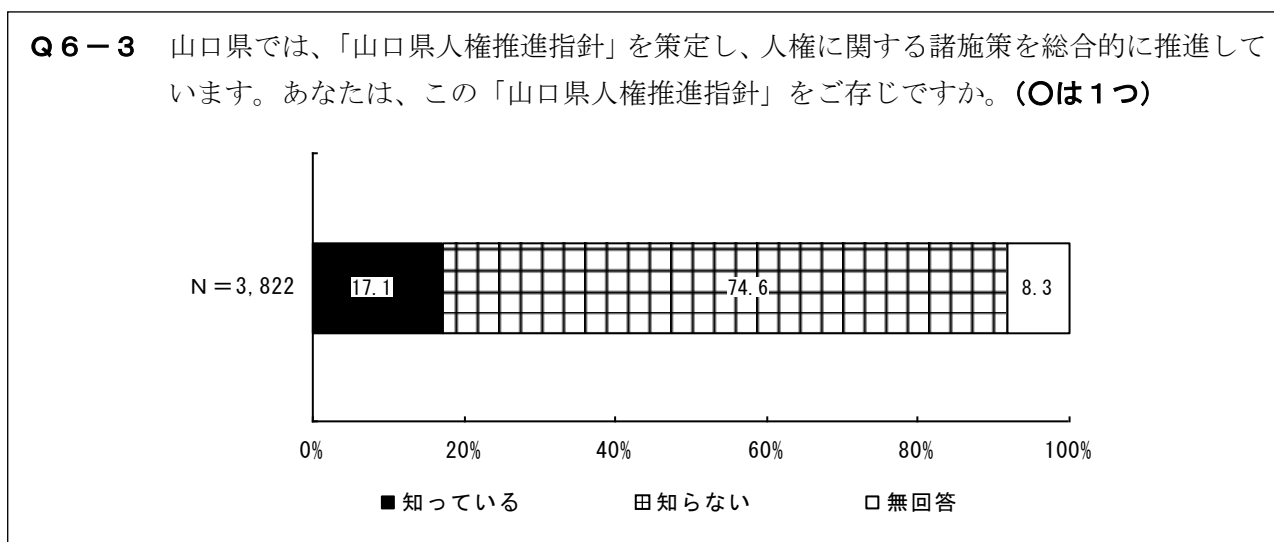
現在関心を持っている人権問題について、「高齢者問題」が 64.5%と最も高く、次いで「子どもの問題」(39.0%)、「環境問題」(37.4%)、「障害者問題」(25.2%)、「インターネットにおける問題」(21.5%)、「プライバシーの保護」(20.6%)などの順となっている。

6-2. 人権問題に関する知識や情報の入手媒体



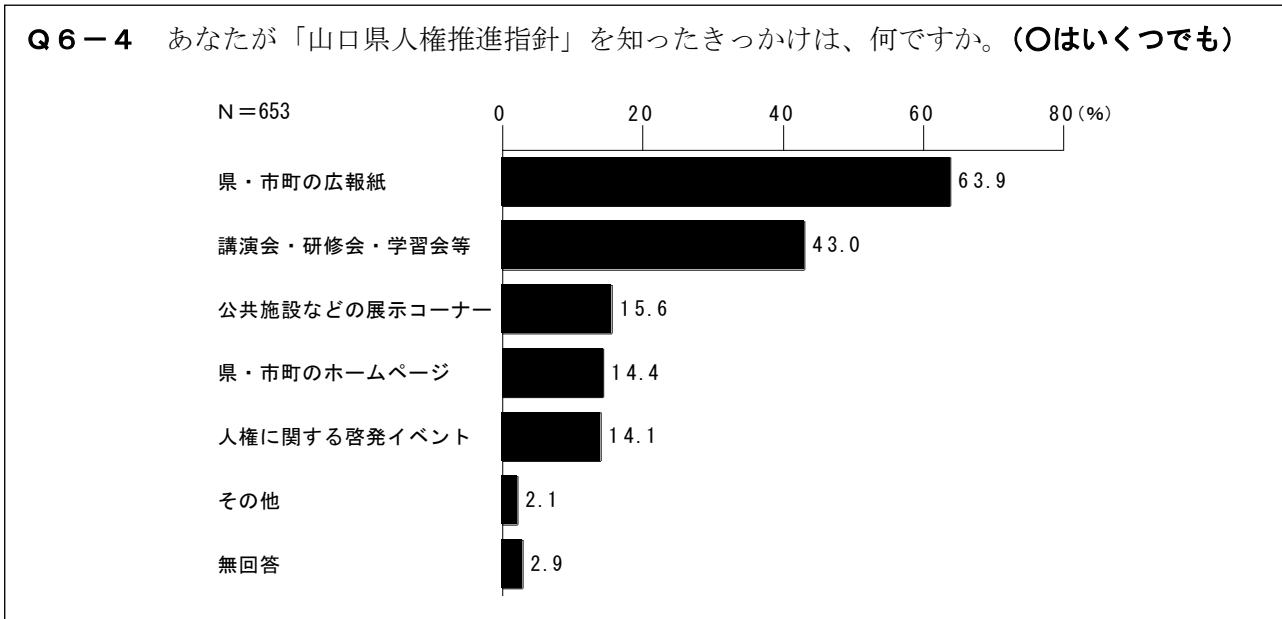
人権問題に関する知識や情報の入手媒体について、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など」が 88.1% と最も高く、次いで「家族・友人との会話」(22.4%)、「インターネット」(17.3%)、「行政のパンフレット」(15.6%)、「講演会・研修会・学習会等への参加」(11.9%) などの順となっている。

6-3. 「山口県人権推進指針」の認知度



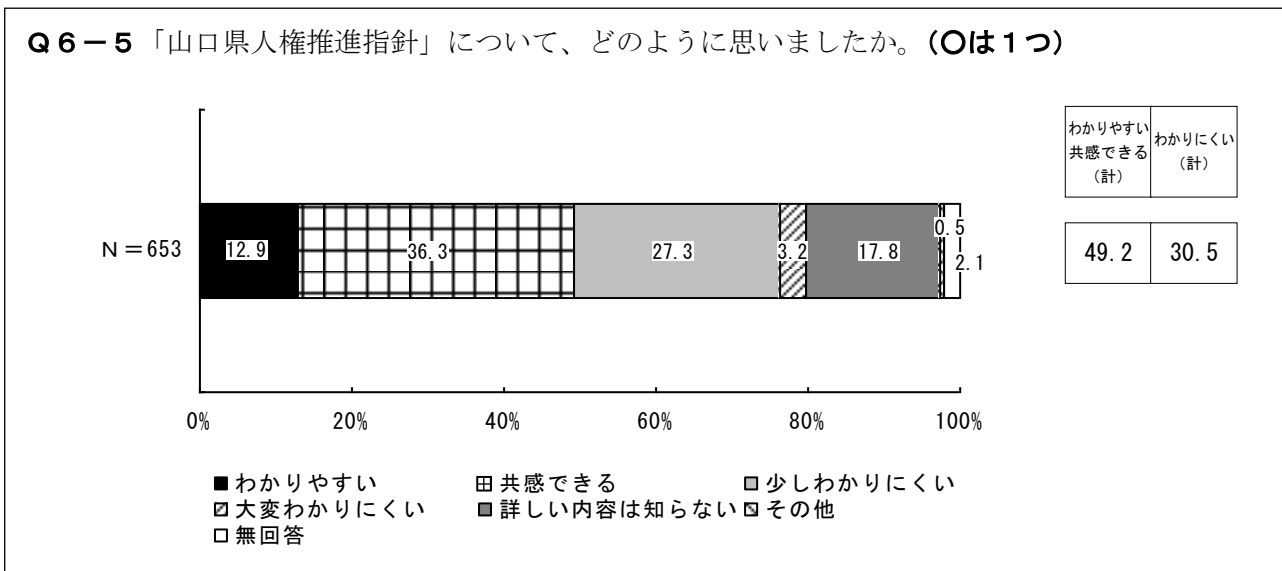
「山口県人権推進指針」の認知度について、「知っている」が 17.1%、「知らない」が 74.6% となっている。

6-4. 「山口県人権推進指針」を知ったきっかけ



Q6-3で「知っている」と回答された方に、「山口県人権推進指針」を知ったきっかけについて質問すると、「県・市町の広報紙」が63.9%と最も高く、次いで「講演会・研修会・学習会等」(43.0%)、「公共施設などの展示コーナー」(15.6%)、「県・市町のホームページ」(14.4%)、「人権に関する啓発イベント」(14.1%)の順となっている。

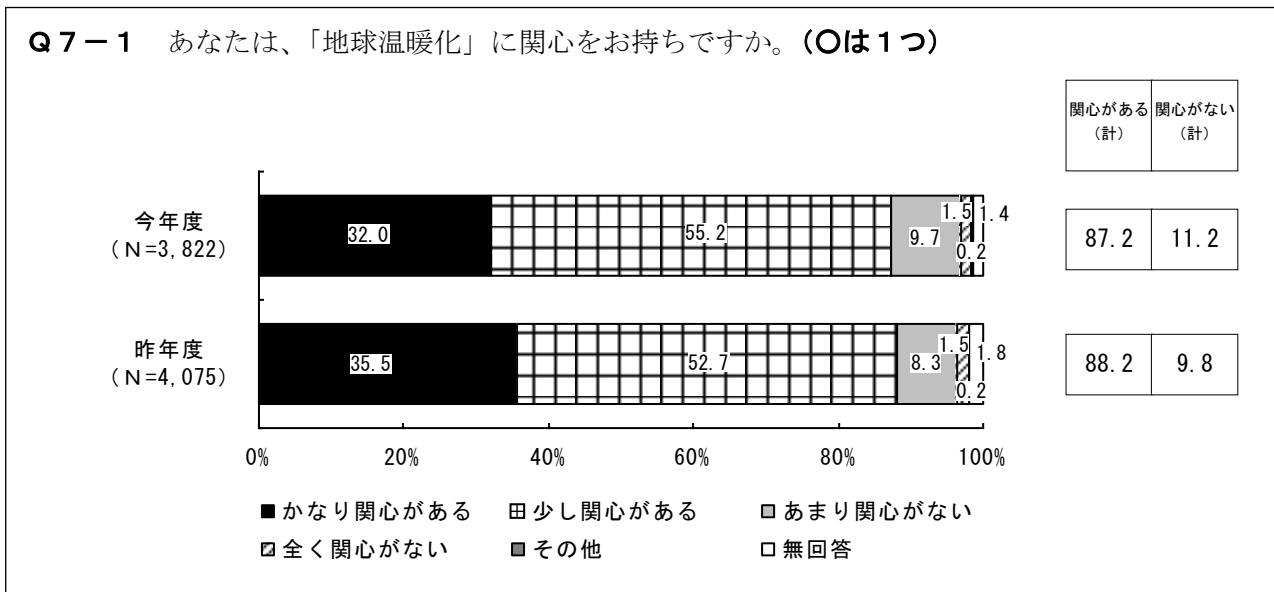
6-5. 「山口県人権推進指針」に対する印象



Q6-3で「知っている」と回答された方に、「山口県人権推進指針」に対する印象について質問すると、「わかりやすい」と「共感できる」を合わせた『わかりやすい・共感できる (計)』が49.2%、「大変わかりにくい」と「少しわかりにくい」を合わせた『わかりにくい (計)』が30.5%となっている。また、「詳しい内容は知らない」も17.8%となっている。

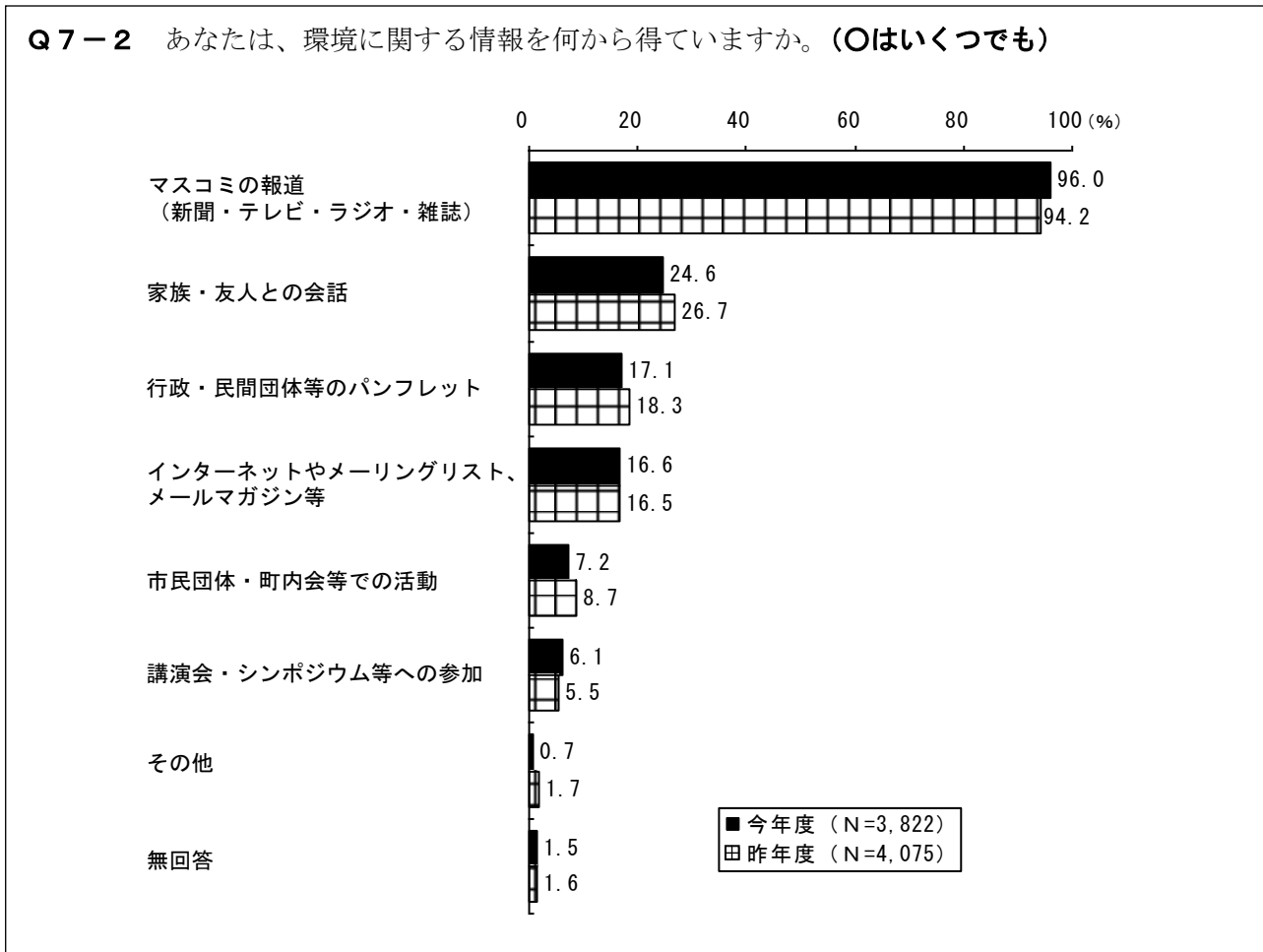
## 7. 地球温暖化

### 7-1. 「地球温暖化」への関心度



地球温暖化への関心度について、「かなり関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が87.2%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が11.2%となっている。昨年度と比較すると、『関心がある(計)』がともに約9割と大きな差はみられない。

7-2. 環境に関する情報の入手媒体



環境に関する情報の入手媒体について、「マスコミの報道（新聞・テレビ・ラジオ・雑誌）」が96.0%と最も高く、次いで「家族・友人との会話」（24.6%）、「行政・民間団体等のパンフレット」（17.1%）、「インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等」（16.6%）、「市民団体・町内会等での活動」（7.2%）、「講演会・シンポジウム等への参加」（6.1%）の順となっている。昨年度と比較すると、いずれの調査も「マスコミの報道（新聞・テレビ・ラジオ・雑誌）」が9割台と最も高く、大きな差はみられない。

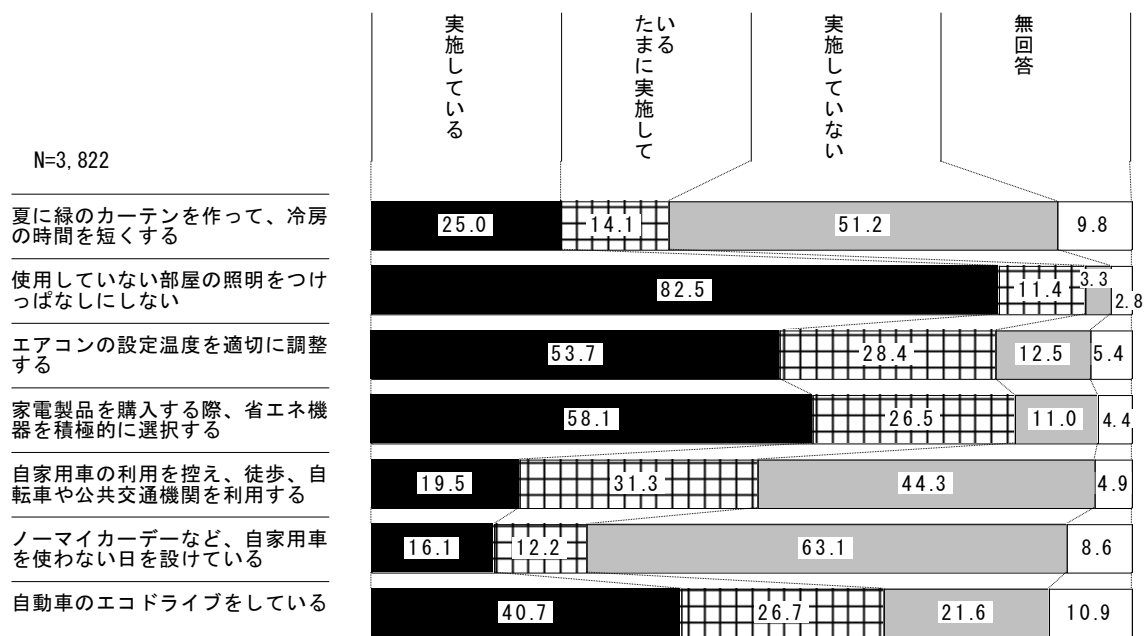


7-3. 地球温暖化防止のための取組

Q7-3 あなたの日常生活において、地球温暖化防止のために、どのような取組を行っていますか。いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

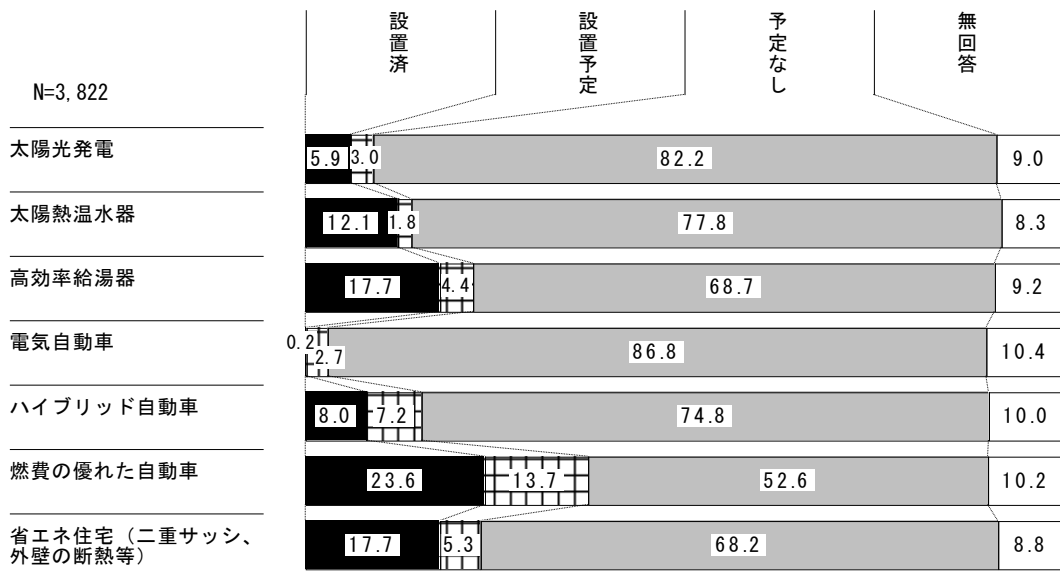
【家庭での省エネルギーの取組】

N=3,822



地球温暖化防止のための取組【家庭での省エネルギーの取組】について、「実施している」が「使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない」で82.5%と最も高く、「家電製品を購入する際、省エネ機器を積極的に選択する」(58.1%)、「エアコンの設定温度を適切に調整する」(53.7%)で5割台と高くなっている。

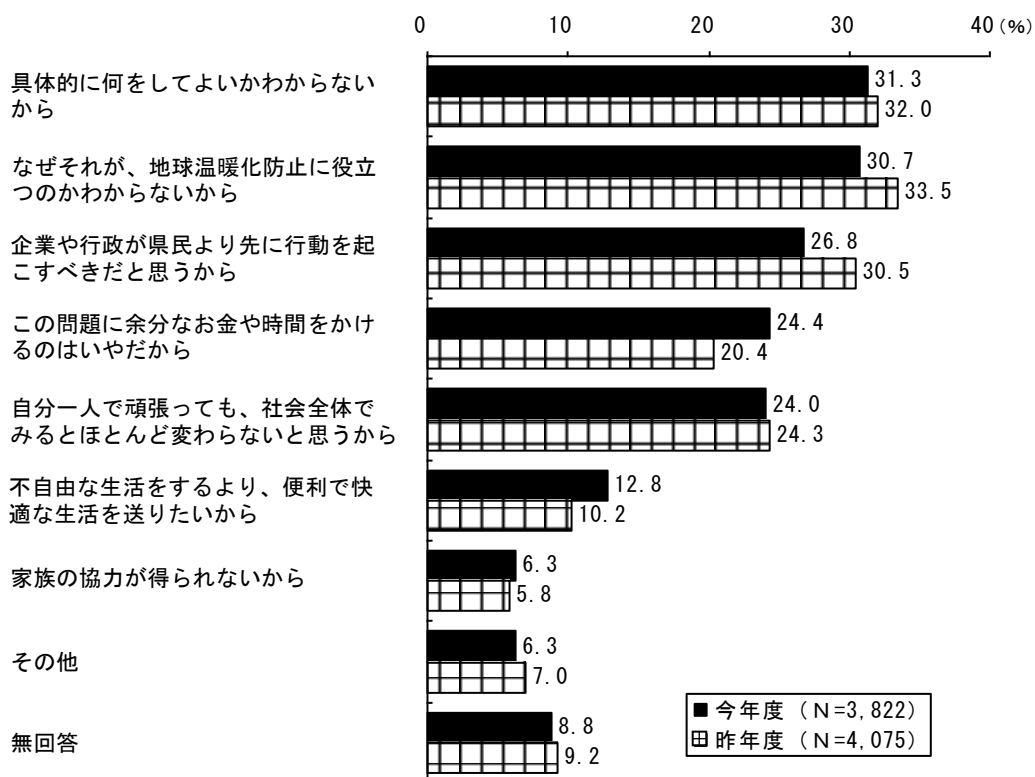
【新エネルギー・省エネルギー機器等の設置】



地球温暖化防止のための取組【新エネルギー・省エネルギー機器等の設置】について、すべての項目において「予定なし」が高くなっているが、「燃費の優れた自動車」では、「設置済」が23.6%と2割を超えている。

7-4. 地球温暖化防止行動に取り組みにくい理由

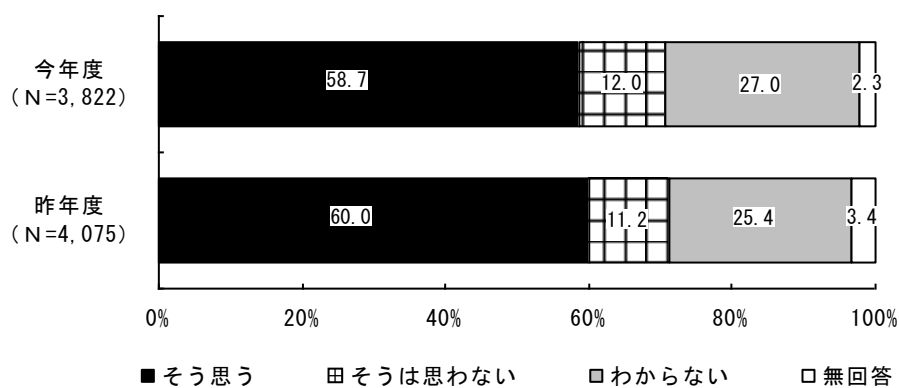
Q7-4 温暖化防止行動を行う場合、取り組みにくい理由は何ですか。現在活発に行動されている方も、取組スタート当初の頃を思い出して記入してください。(〇は3つまで)



温暖化防止行動に取り組みにくい理由について、「具体的に何をしてもよくわからないから」(31.3%)、「なぜそれが、地球温暖化防止に役立つかわからないから」(30.7%)が3割台と高く、次いで「企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから」(26.8%)、「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」(24.4%)、「自分一人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから」(24.0%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」は4.0ポイント上昇し、「企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから」は3.7ポイント低下している。

7-5. 「経済発展等より温室効果ガスの排出削減を優先」という考え方

**Q7-5** あなたは、「経済発展や生活の利便性を若干犠牲にしても、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減を優先しなければならない」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

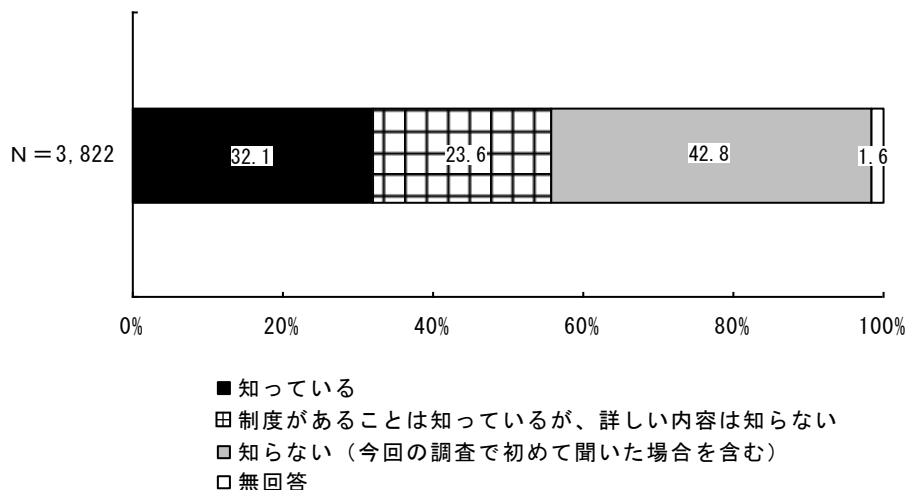


「経済発展等より温室効果ガスの排出削減を優先」という考え方について、「そう思う」が58.7%、「そうは思わない」が12.0%、「わからない」が27.0%となっている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

## 8. やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度

### 8-1. 「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度」の認知度

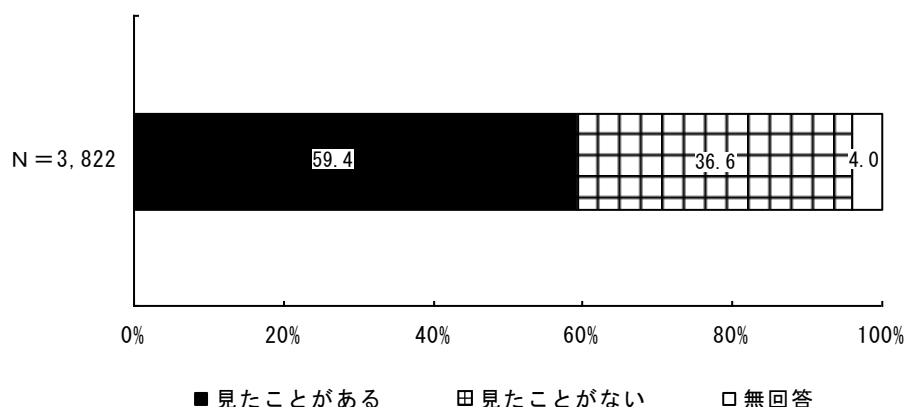
**Q8-1** 山口県では、身障者用駐車場の適正な利用の促進を図るため、平成22年8月から、「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度」を導入しています。あなたは、この制度について知っていますか。(〇は1つ)



「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度」の認知度について、「知っている」が32.1%、「制度があることは知っているが、詳しい内容は知らない」が23.6%、「知らない(今回の調査で初めて聞いた場合を含む)」が42.8%となっている。

### 8-2. 案内表示ステッカーを見た経験

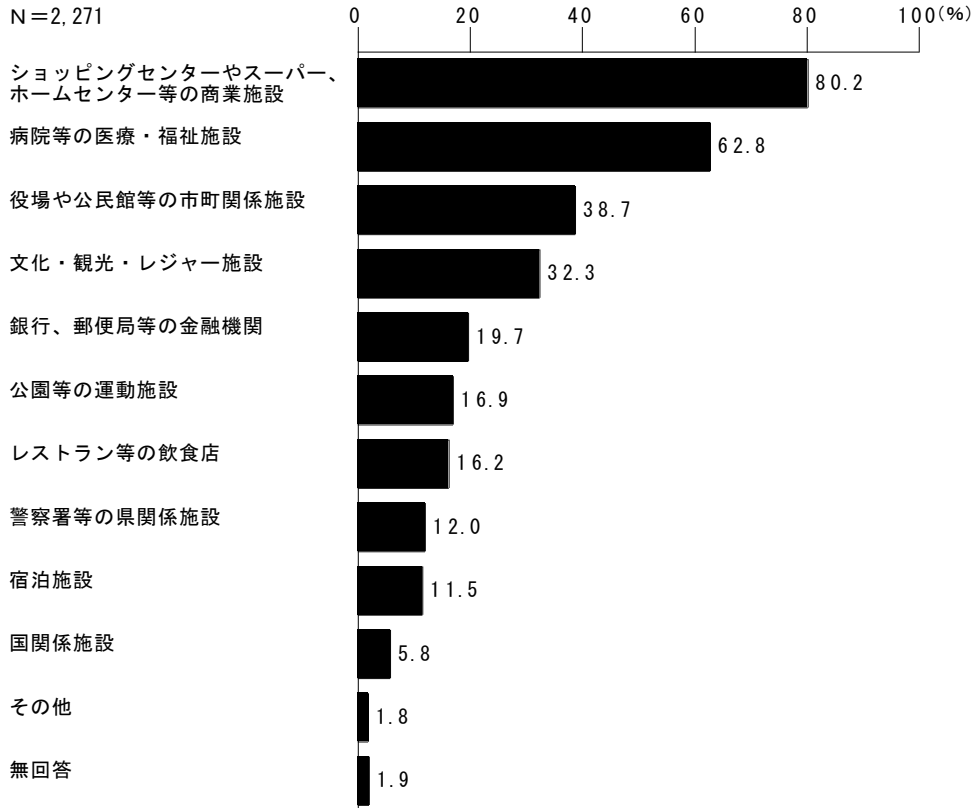
**Q8-2** この制度では、協力施設の身障者用駐車場に、案内表示ステッカーを掲示しています。実際に、案内表示ステッカーを見たことがありますか。(〇は1つ)



案内表示ステッカーを見た経験について、「見たことがある」が59.4%、「見たことがない」が36.6%となっている。

8-3. 案内表示ステッカーを見た場所

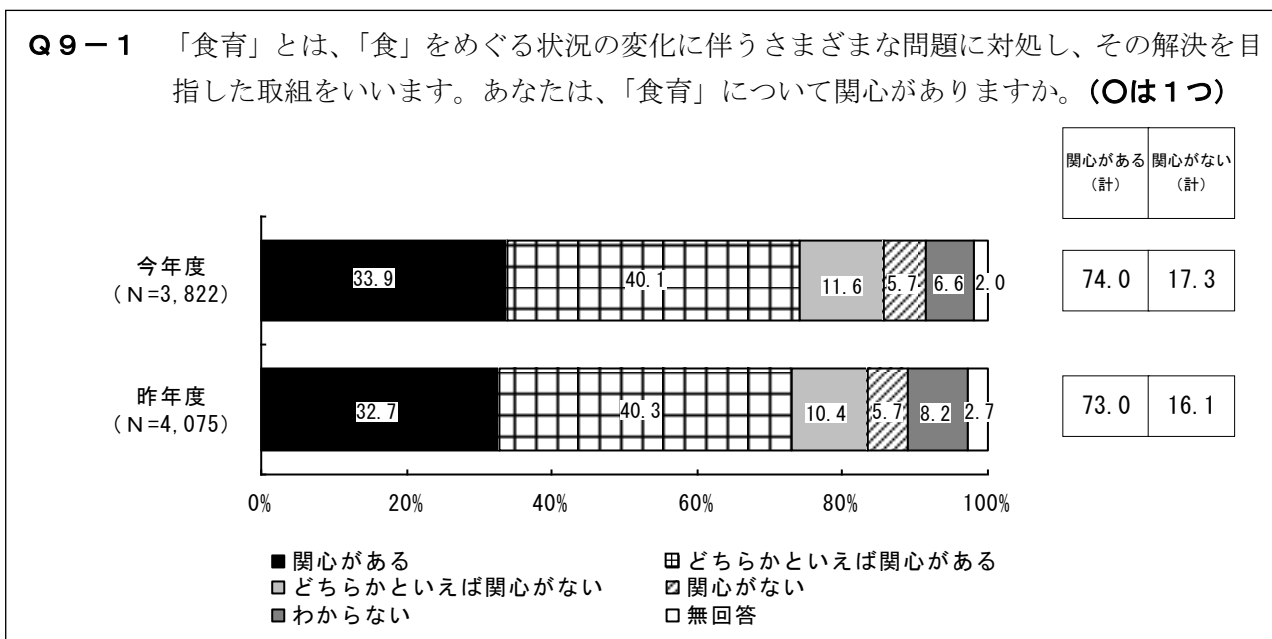
Q8-3 あなたは、どこで案内表示ステッカーを見ましたか。(〇はいくつでも)



Q8-2で「見たことがある」と回答された方に、案内表示ステッカーを見た場所について質問すると、「ショッピングセンターやスーパー、ホームセンター等の商業施設」が80.2%と最も高く、次いで「病院等の医療・福祉施設」(62.8%)、「役場や公民館等の市町関係施設」(38.7%)、「文化・観光・レジャー施設」(32.3%)、「銀行、郵便局等の金融機関」(19.7%)などの順となっている。

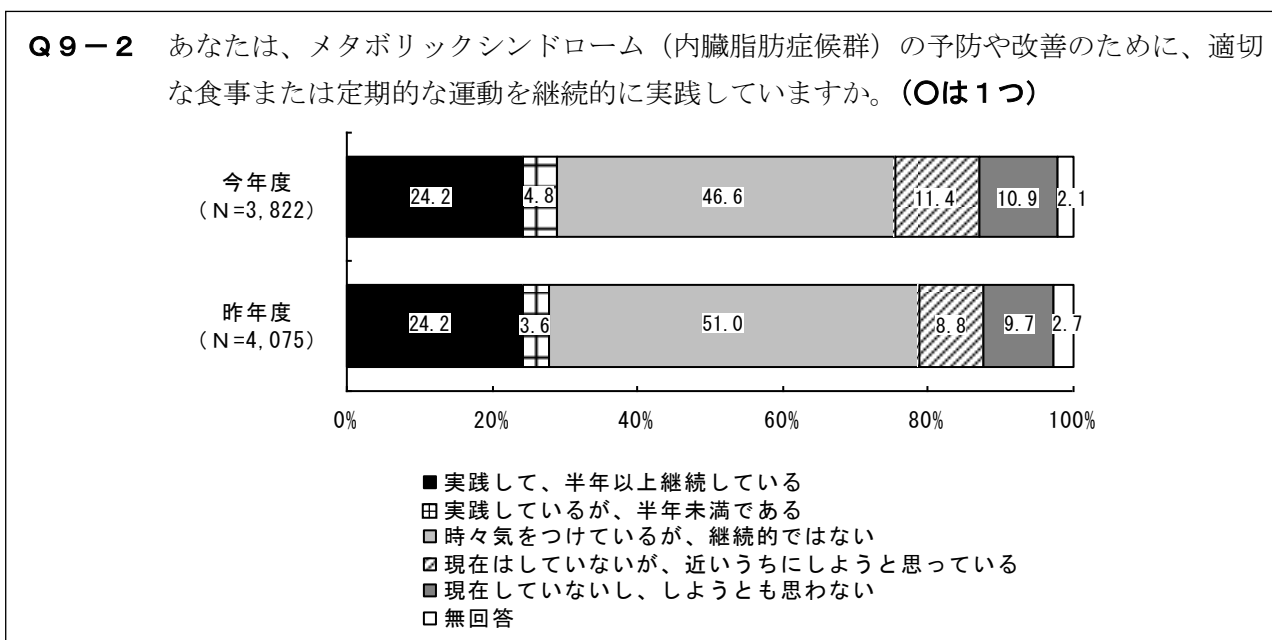
## 9. 食育

### 9-1. 「食育」に対する関心度



食育に対する関心度について、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある (計)』が74.0%、「関心がない」と「どちらかといえば関心がない」を合わせた『関心がない (計)』が17.3%となっている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。

### 9-2. メタボリックシンドロームの予防や改善のための食事・運動の実践状況

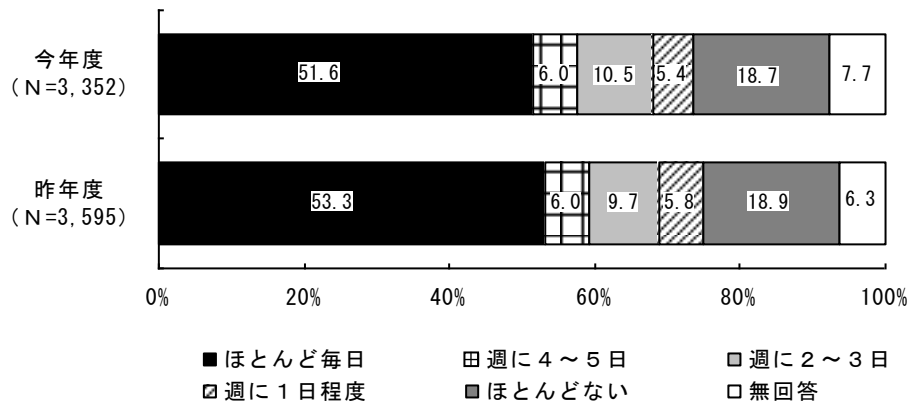


メタボリックシンドロームの予防や改善のための食事・運動の実践状況について、「時々気をつけているが、継続的ではない」が46.6%と最も高く、次いで「実践して、半年以上継続している」(24.2%)となっている。昨年度と比較すると、「時々気をつけているが、継続的ではない」が4.4ポイント低下している。

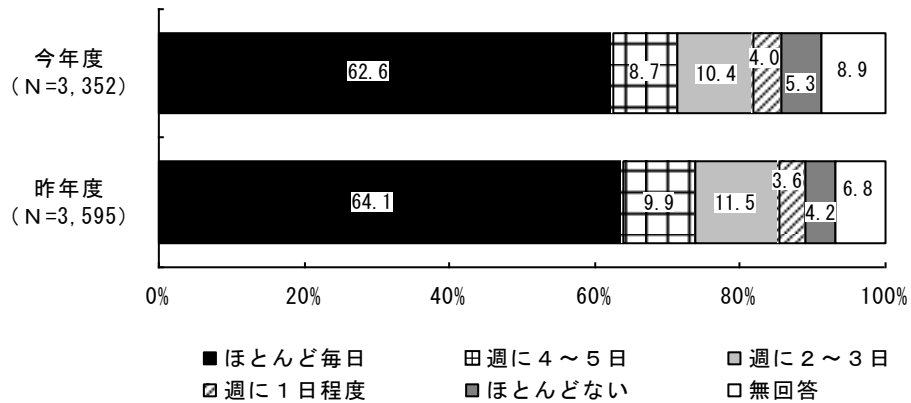
9-3. 朝食・夕食を家族と一緒に食べる頻度

Q9-3 家族と同居している方のみお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

【朝食】



【夕食】



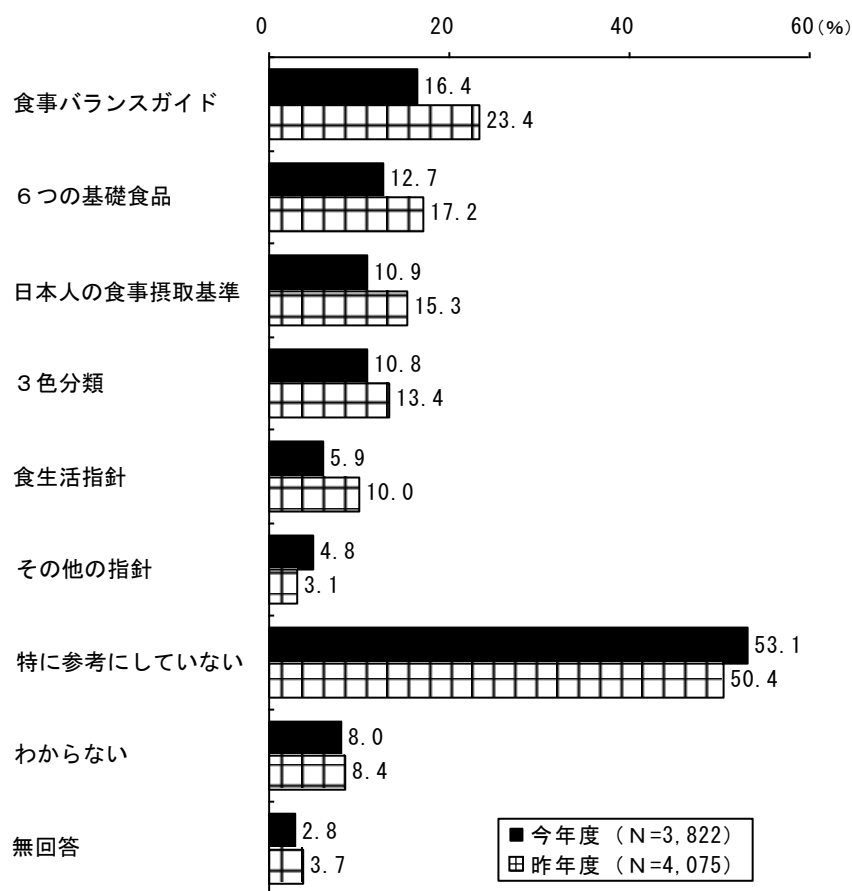
朝食を家族と一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日」が51.6%と最も高く、次いで「ほとんどない」(18.7%)、「週に2~3日」(10.5%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「ほとんど毎日」が1.7ポイント低下している。

夕食を家族と一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日」が62.6%と最も高く、次いで「週に2~3日」(10.4%)、「週に4~5日」(8.7%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「ほとんど毎日」が1.5ポイント低下している。



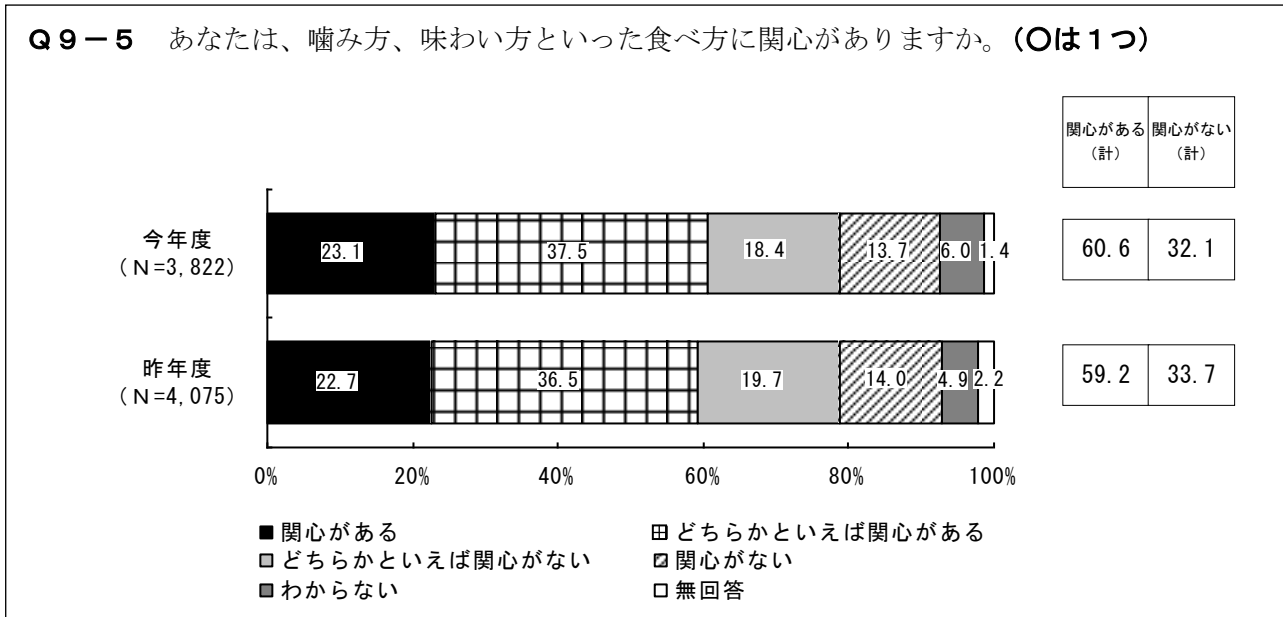
## 9-4. 日頃参考にしている指針等

Q9-4 あなたは、日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針等を参考にしていますか。(〇は3つまで)



日頃参考にしている指針等について、「特に参考にしていない」が53.1%と最も高く、次いで「食事バランスガイド」(16.4%)、「6つの基礎食品」(12.7%)、「日本人の食事摂取基準」(10.9%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「食事バランスガイド」は7.0ポイント低下している。

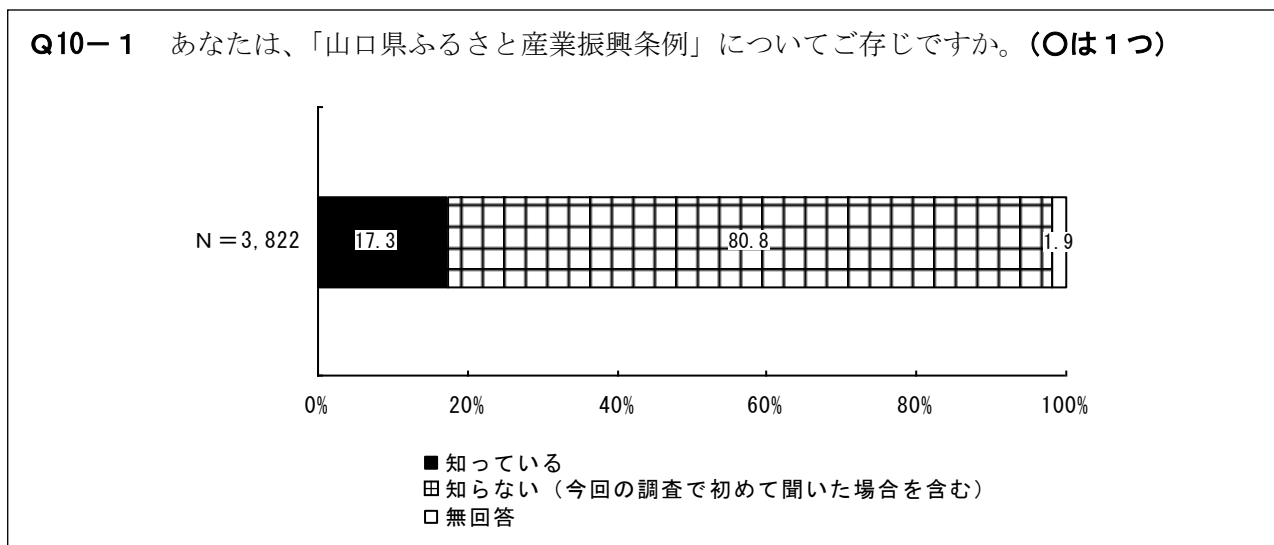
9-5. 食べ方への関心度



噛み方、味わい方といった食べ方への関心度について、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が60.6%、「関心がない」と「どちらかといえば関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が32.1%となっている。昨年度と比較すると、『関心がある(計)』は1.4ポイント上昇している。

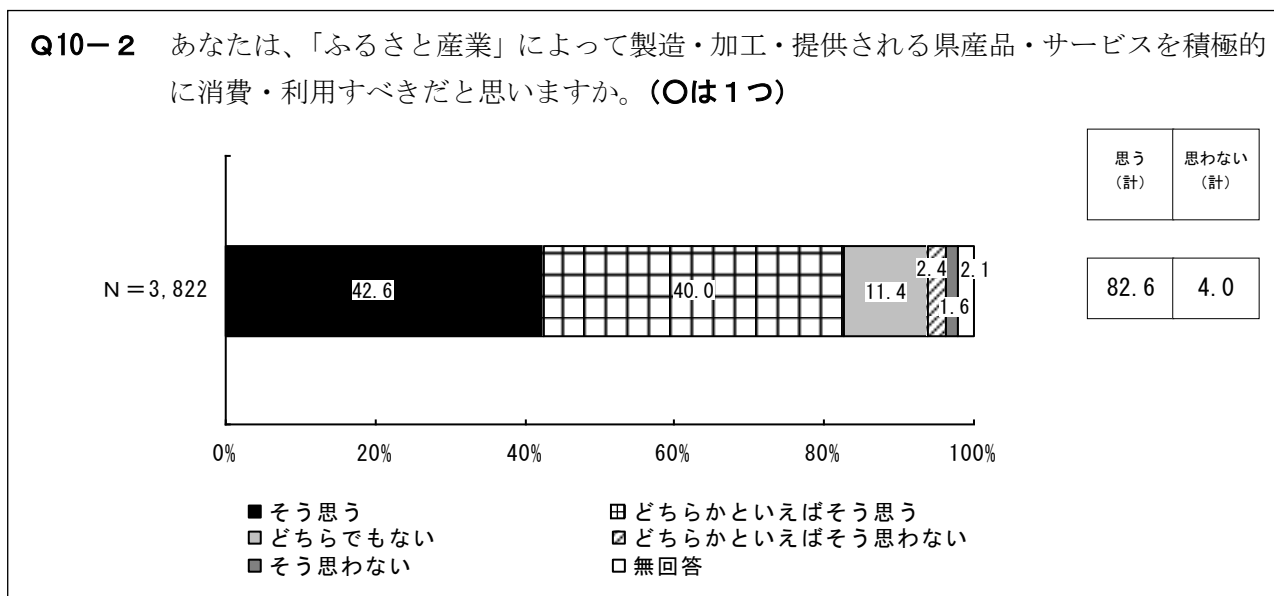
## 10. ふるさと産業の振興

### 10-1. 「山口県ふるさと産業振興条例」の認知度



「山口県ふるさと産業振興条例」の認知度について、「知っている」が17.3%、「知らない (今回の調査で初めて聞いた場合を含む)」が80.8%となっている。

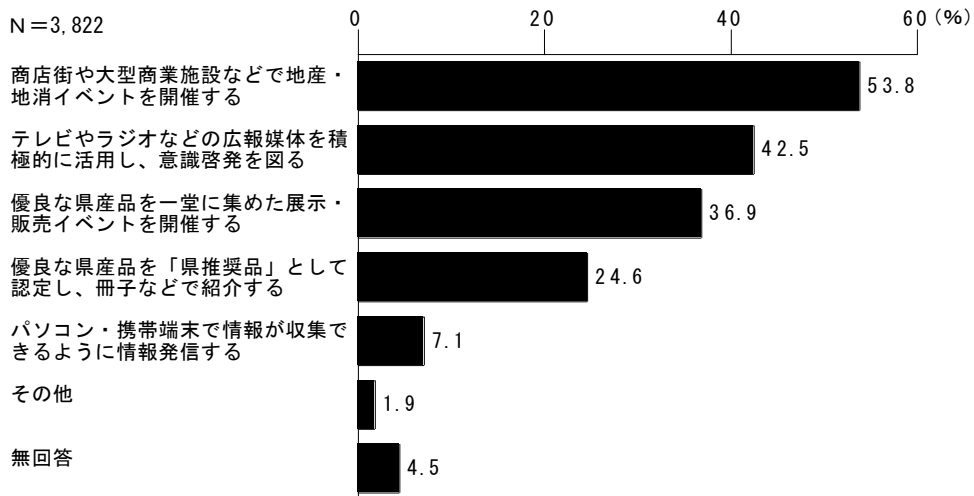
### 10-2. 「ふるさと産業」によって提供される県産品を積極的に消費・利用すべきか



「ふるさと産業」によって提供される県産品を積極的に消費・利用すべきかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う (計)』が82.6%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない (計)』が4.0%となっている。

10-3. 消費・利用を促進するために必要な取組

**Q10-3** 「ふるさと産業」によって製造・加工・提供される県産品・サービスの消費・利用を促進するために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

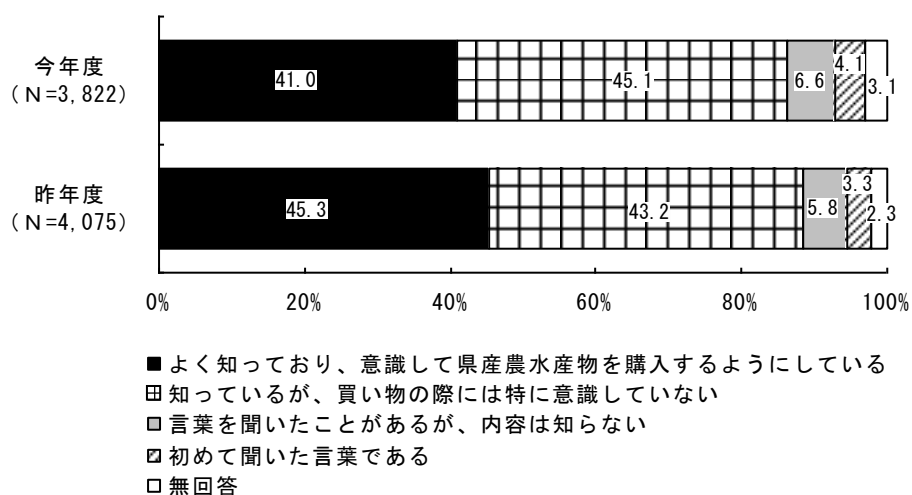


消費・利用を促進するために必要な取組について、「商店街や大型商業施設などで地産・地消イベントを開催する」が53.8%と最も高く、次いで「テレビやラジオなどの広報媒体を積極的に活用し、意識啓発を図る」(42.5%)、「優良な県産品を一堂に集めた展示・販売イベントを開催する」(36.9%)、「優良な県産品を「県推奨品」として認定し、冊子などで紹介する」(24.6%)などの順となっている。

## 1 1. 地産・地消の推進

### 1 1-1. 「地産・地消」の認知状況

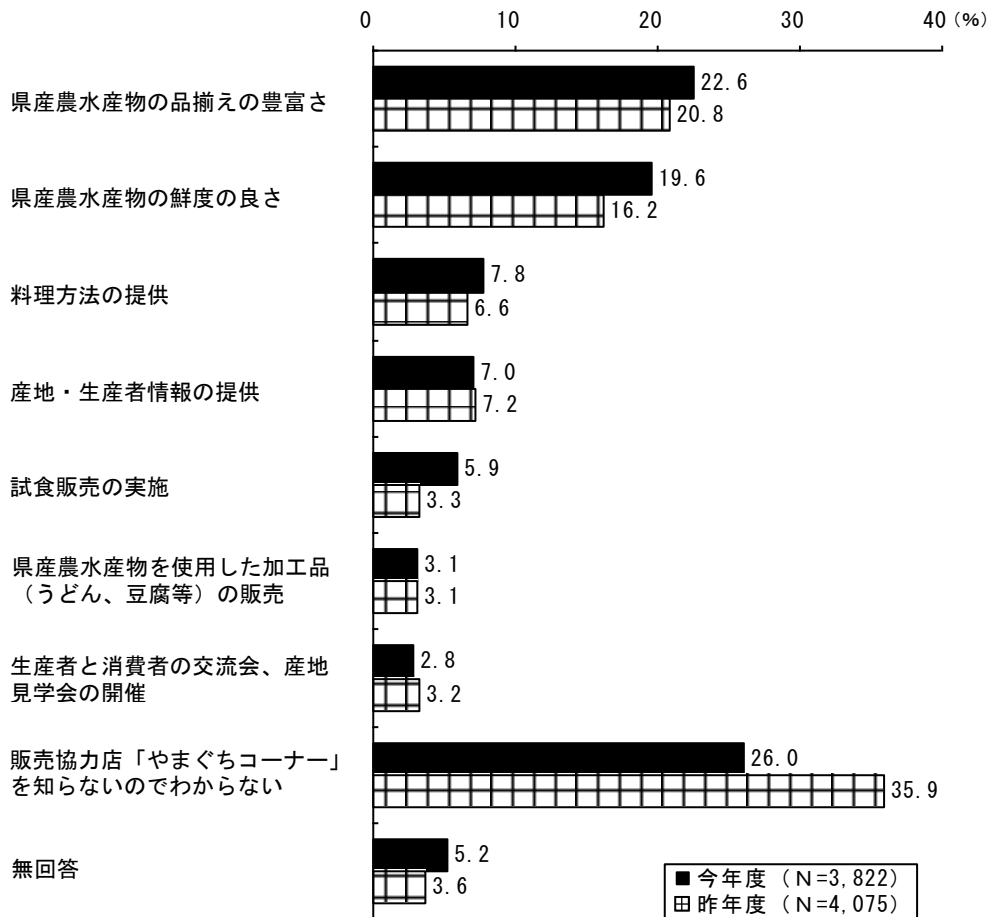
**Q11-1** 県内で生産された農水産物を県内で消費する「地産・地消」についてご存じですか。  
(〇は1つ)



「地産・地消」の認知状況について、「よく知っており、意識して県産農水産物を購入するようにしている」(41.0%)、「知っているが、買い物の際には特に意識していない」(45.1%)がともに4割台となっている。

11-2. 「やまぐちコーナー」への要望

Q11-2 県産農水産物を年間を通して販売する「やまぐちコーナー」を設けた「販売協力店」を、県下に設置していますが、この「やまぐちコーナー」に何を望まれますか。(〇は1つ)

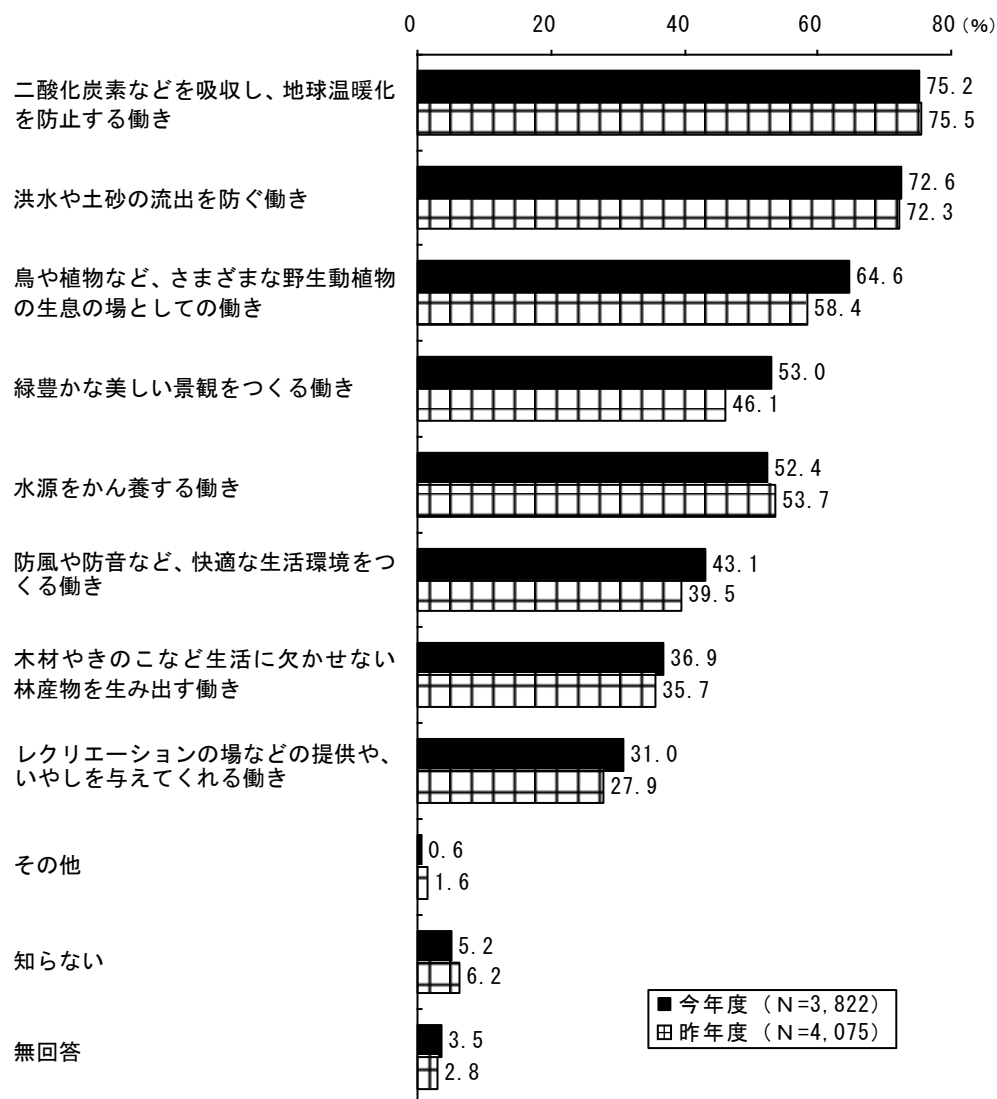


「やまぐちコーナー」への要望についてみると、「県産農水産物の品揃えの豊富さ」(22.6%)が2割台と高く、次いで「県産農水産物の鮮度の良さ」(19.6%)、「料理方法の提供」(7.8%)、「産地・生産者情報の提供」(7.0%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「販売協力店「やまぐちコーナー」を知らないのでわからない」が9.9ポイント低下している。

## 12. やまぐち森林づくり県民税

### 12-1. 森林の持っている働き

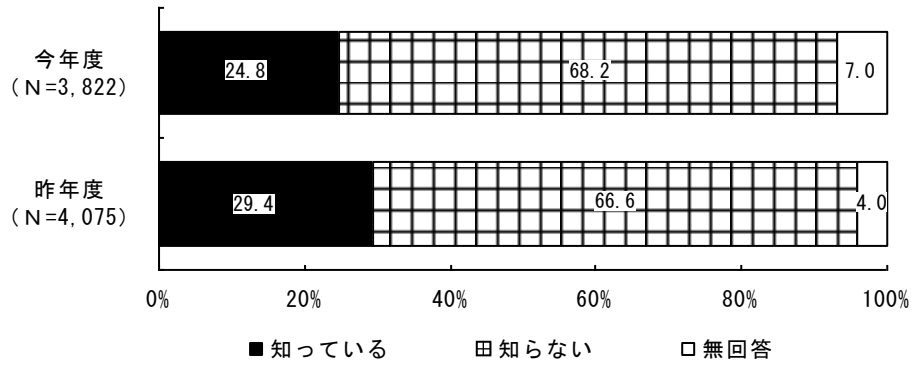
Q12-1 近年、森林の荒廃が問題となっていますが、あなたは、森林の持っているどのような働きをご存じですか。(〇はいくつでも)



森林の持っている働きについて、「二酸化炭素などを吸収し、地球温暖化を防止する働き」(75.2%)、「洪水や土砂の流出を防ぐ働き」(72.6%)が7割台と高く、次いで「鳥や植物など、さまざまな野生動植物の生息の場としての働き」(64.6%)、「緑豊かな美しい景観をつくる働き」(53.0%)、「水源をかん養する働き」(52.4%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「緑豊かな美しい景観をつくる働き」が6.9ポイント上昇している。

12-2. 「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況

**Q12-2** 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。(〇は1つ)

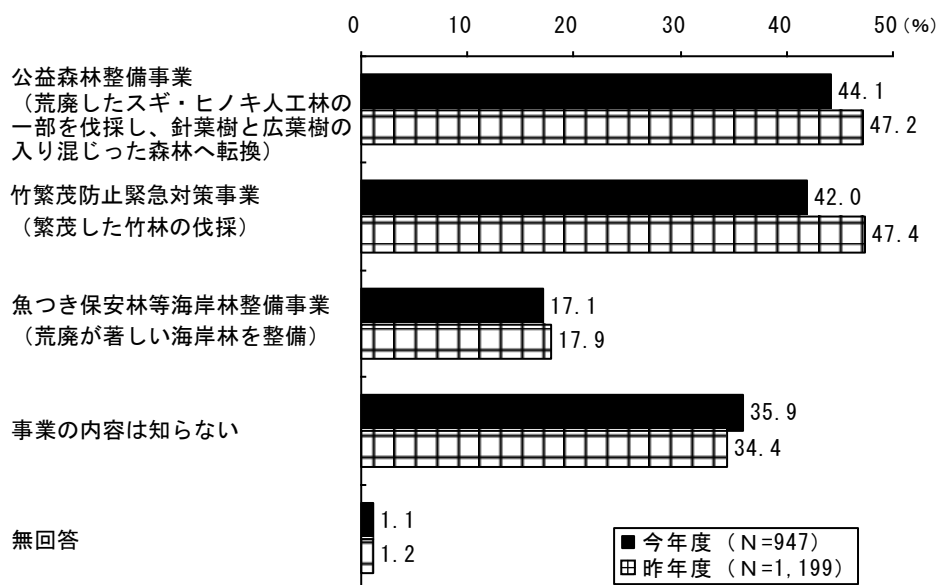


「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況については、「知っている」が24.8%、「知らない」が68.2%となっている。昨年度と比較すると、「知っている」が4.6ポイント低下している。



12-3. 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容

Q12-3 あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容についてご存じですか。(〇はいくつでも)

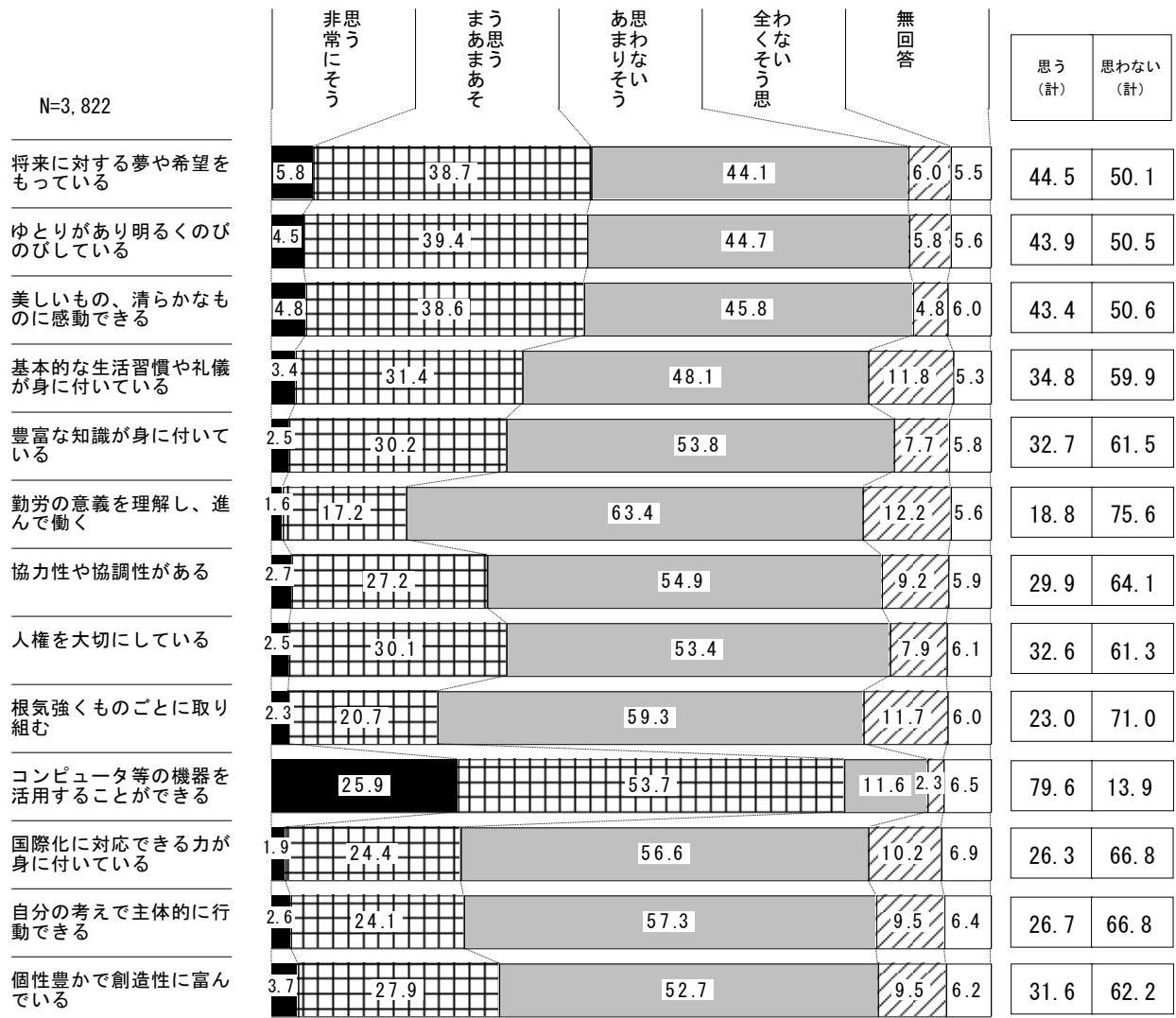


Q12-2で「やまぐち森林づくり県民税」を「知っている」と回答された方に、「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容について質問すると、「公益森林整備事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部を伐採し、針葉樹と広葉樹の入り混じった森林へ転換）」(44.1%)、「竹繁茂防止緊急対策事業（繁茂した竹林の伐採）」(42.0%)が4割台と高く、次いで「魚つき保安林等海岸林整備事業（荒廃が著しい海岸林を整備）」(17.1%)の順となっている。また、「事業の内容は知らない」(35.9%)も3割台となっている。昨年度と比較すると、「竹繁茂防止緊急対策事業（繁茂した竹林の伐採）」が5.4ポイント低下している。

13. 山口県教育

13-1. 今の子どもたちに対する印象

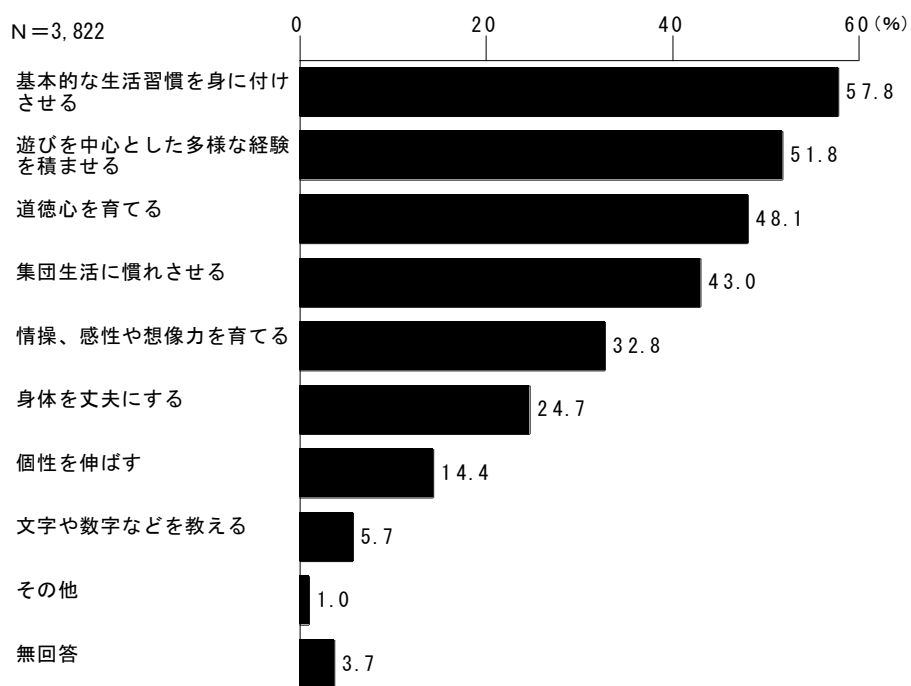
Q13-1 あなたは、今の子どもたちについてどのように感じていますか。  
 いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)



今の子どもたちに対する印象について、「非常にそう思う」と「まあまあそう思う」を合わせた『思う (計)』を各項目についてみると、「コンピュータ等の機器を活用することができる」で79.6%となっているが、その他の項目では5割に満たない。「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『思わない (計)』が「勤労の意義を理解し、進んで働く」、「根気強くものごとに取り組む」で7割台と高くなっている。

## 13-2. 幼稚園で力を入れたらよいと思うこと

Q13-2 あなたは、幼稚園（保育所・こども園）ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（〇は3つまで）



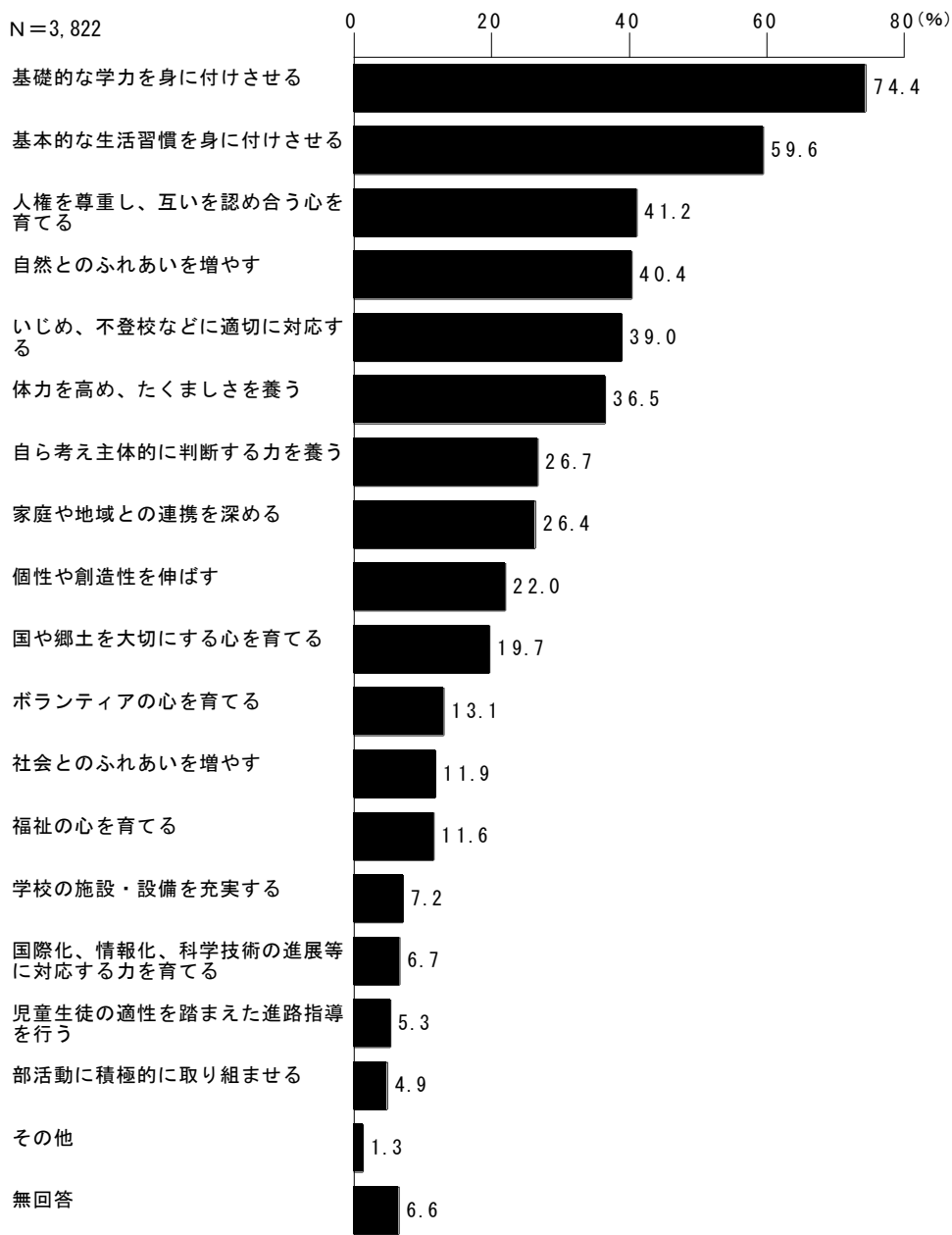
幼稚園で力を入れたらよいと思うことについて、「基本的な生活習慣を身に付けさせる」（57.8%）、「遊びを中心とした多様な経験を積ませる」（51.8%）が5割台と高く、次いで「道徳心を育てる」（48.1%）、「集団生活に慣れさせる」（43.0%）、「情操、感性や想像力を育てる」（32.8%）などの順となっている。

13-3. 小学校・中学校の教育で力を入れたらよいと思うこと

**Q13-3** あなたは、小学校・中学校の教育ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。小学校・中学校それぞれについて、お答えください。（〇はそれぞれ5つまで）

**【小学校】**

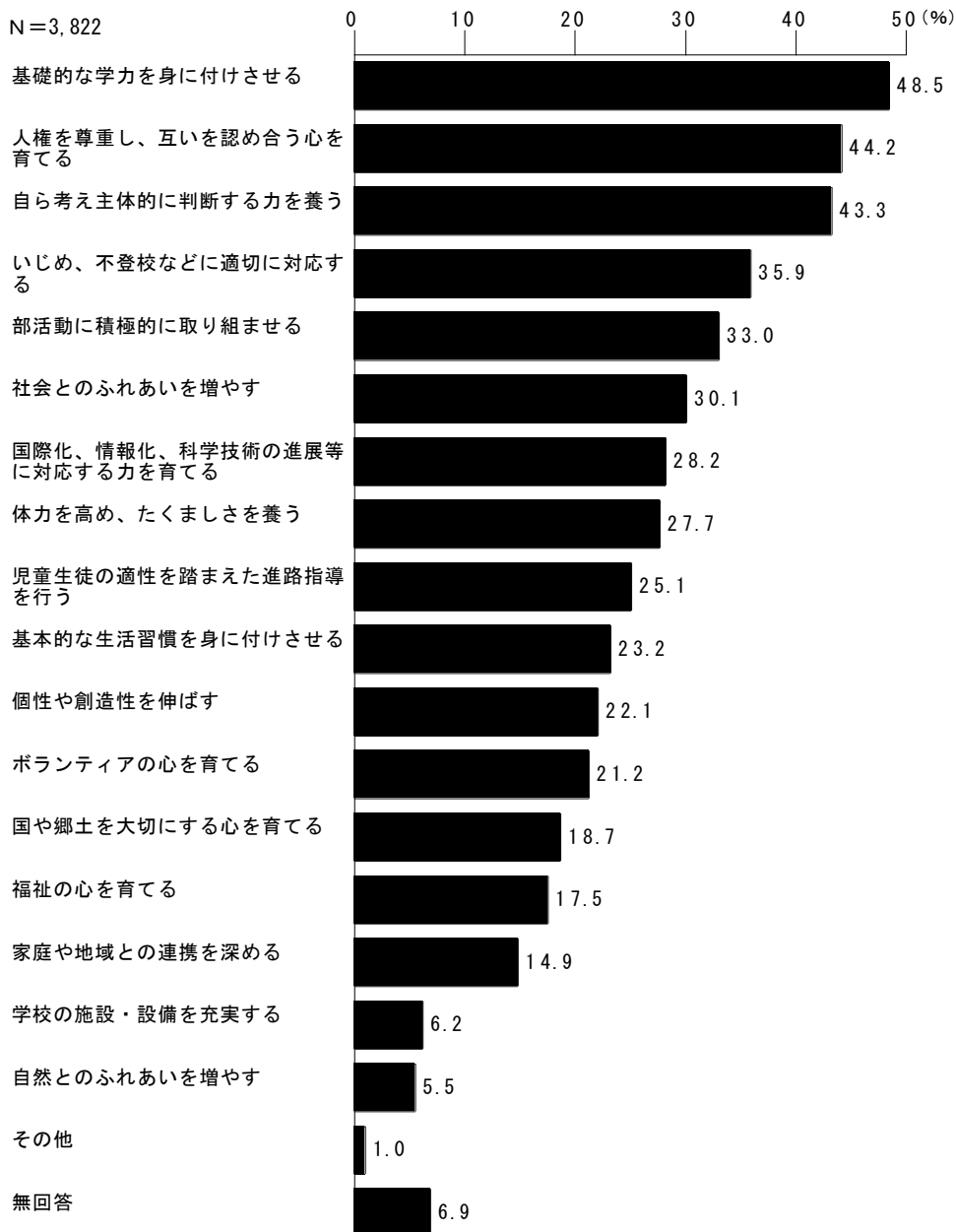
N=3,822



小学校の教育で力を入れたらよいと思うことについて、「基礎的な学力を身に付けさせる」が74.4%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣を身に付けさせる」(59.6%)、「人権を尊重し、互いを認め合う心を育てる」(41.2%)、「自然とのふれあいを増やす」(40.4%)、「いじめ、不登校などに適切に対応する」(39.0%)、「体力を高め、たくましさを養う」(36.5%)などの順となっている。

**Q13-3** あなたは、小学校・中学校の教育ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。小学校・中学校それぞれについて、お答えください。（〇はそれぞれ5つまで）

**【中学校】**

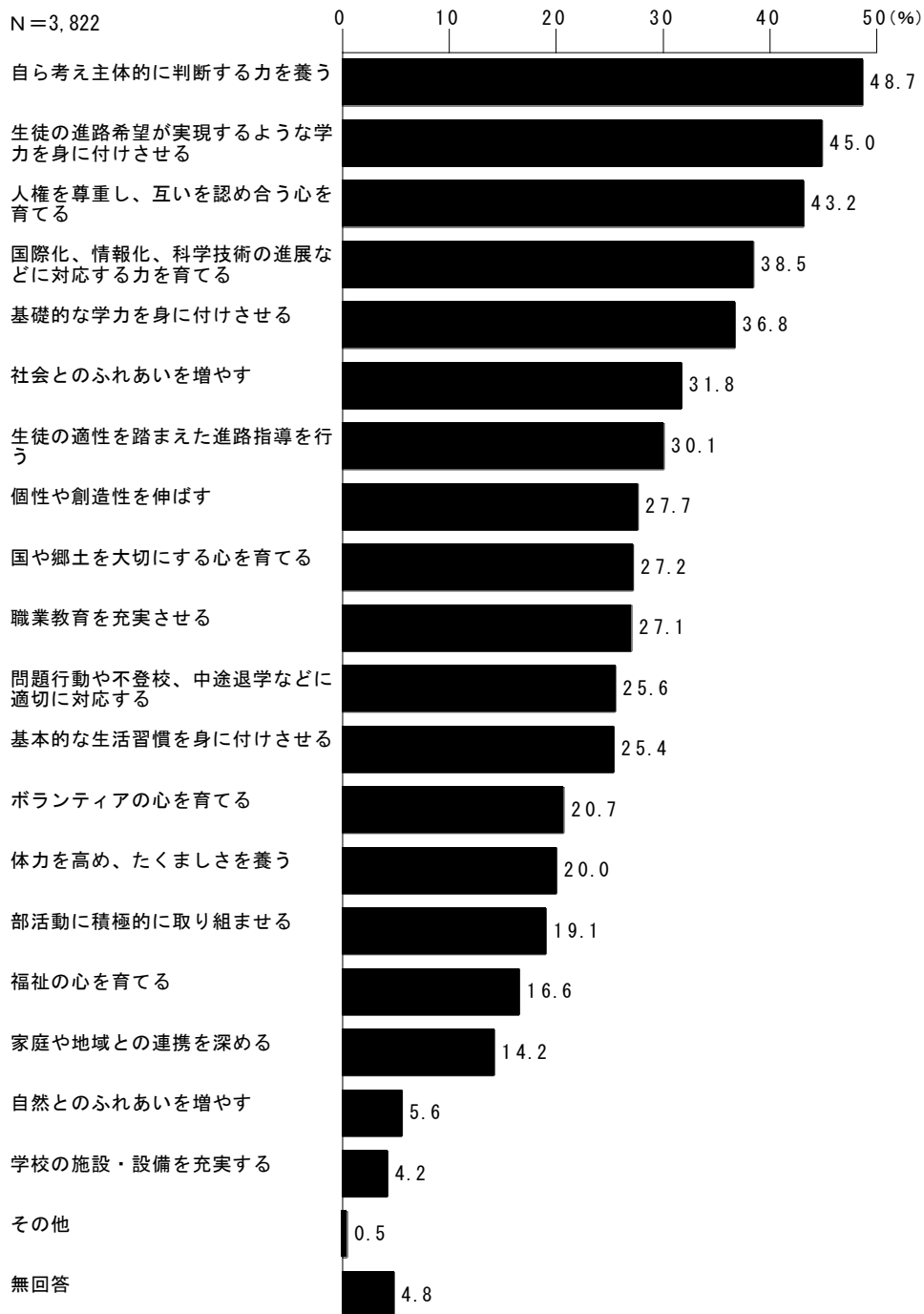


中学校の教育で力を入れたらよいと思うことについて、「基礎的な学力を身に付けさせる」が48.5%と最も高く、次いで「人権を尊重し、互いを認め合う心を育てる」（44.2%）、「自ら考え主体的に判断する力を養う」（43.3%）、「いじめ、不登校などに適切に対応する」（35.9%）、「部活動に積極的に取り組ませる」（33.0%）、「社会とのふれあいを増やす」（30.1%）、「国際化、情報化、科学技術の進展等に対応する力を育てる」（28.2%）、「体力を高め、たくましさを養う」（27.7%）などの順となっている。

13-4. 高等学校の教育で力を入れたらよいと思うこと

Q13-4 あなたは、高等学校の教育ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

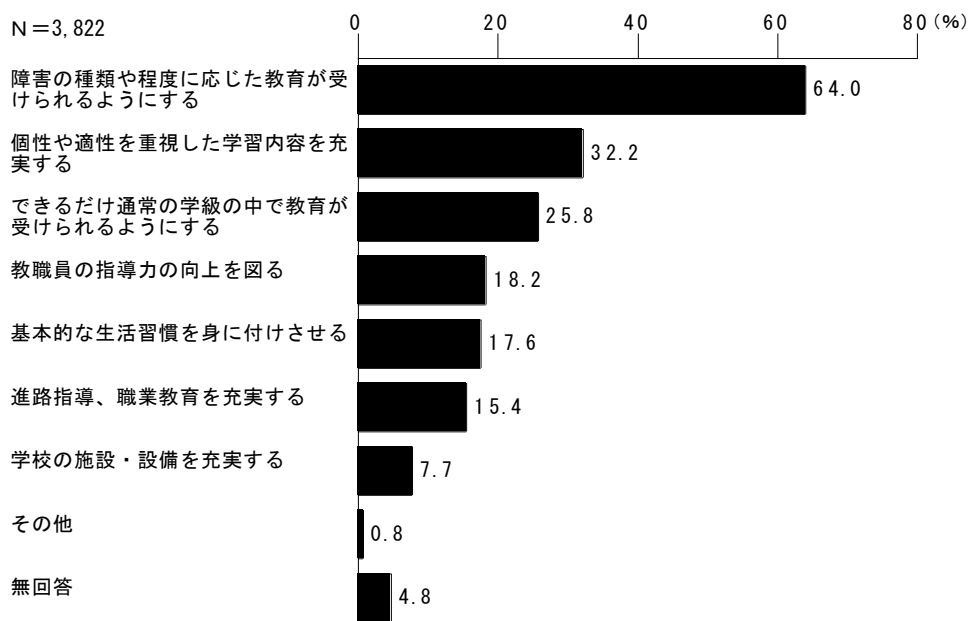
(〇は6つまで)



高等学校の教育で力を入れたらよいと思うことについて、「自ら考え主体的に判断する力を養う」(48.7%)、「生徒の進路希望が実現するような学力を身に付けさせる」(45.0%)、「人権を尊重し、互いを認め合う心を育てる」(43.2%)が4割台と高く、次いで「国際化、情報化、科学技術の進展などに対応する力を育てる」(38.5%)、「基礎的な学力を身に付けさせる」(36.8%)などの順となっている。

## 13-5. 障害のある子どもの教育で力を入れたらよいと思うこと

**Q13-5** あなたは、障害のある子どもの教育ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は2つまで)



障害のある子どもの教育で力を入れたらよいと思うことについて、「障害の種類や程度に応じた教育が受けられるようにする」が64.0%と最も高く、次いで「個性や適性を重視した学習内容を充実する」(32.2%)、「できるだけ通常の学級の中で教育が受けられるようにする」(25.8%)、「教職員の指導力の向上を図る」(18.2%)、「基本的な生活習慣を身に付けさせる」(17.6%)、「進路指導、職業教育を充実する」(15.4%)などの順となっている。